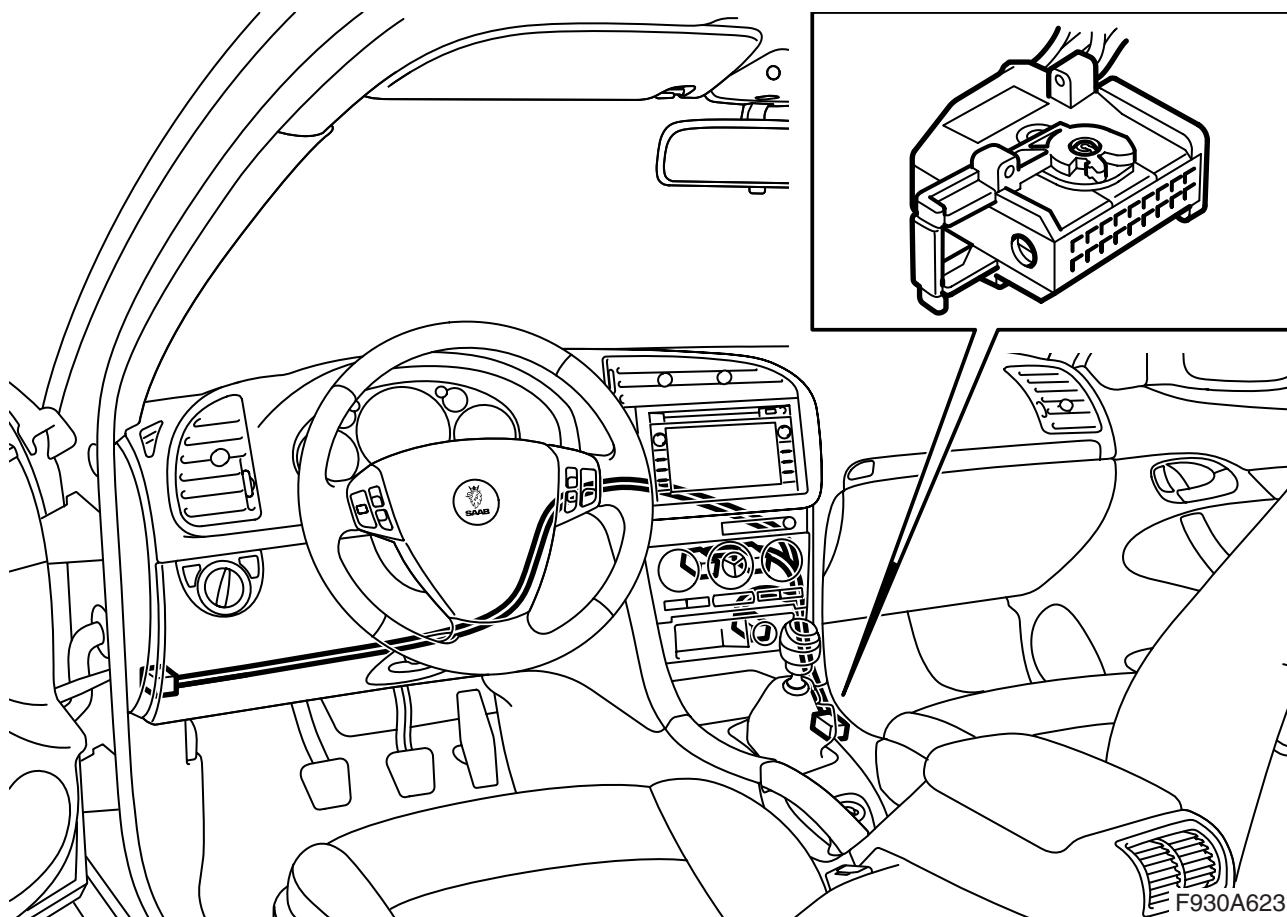


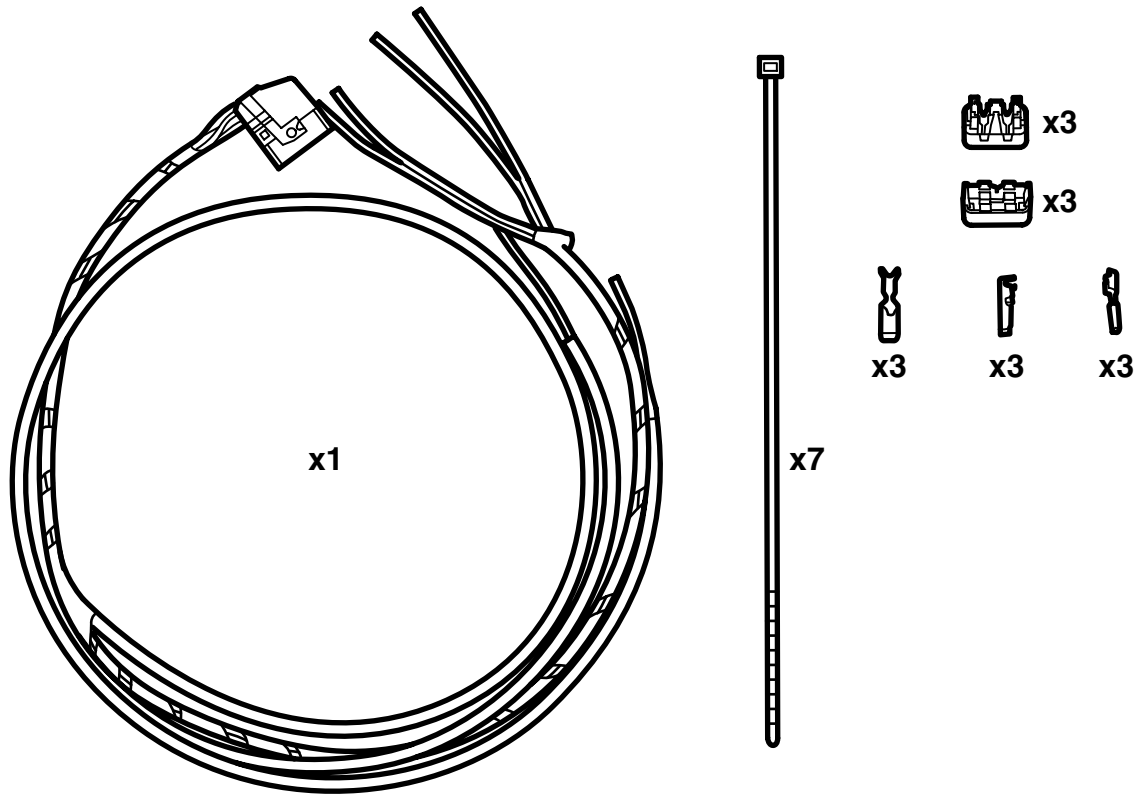


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

9-3 M03 ~ 06、ラジオ / ナビゲーション ..... 3ページ  
9-3 M07 以降、ラジオ ..... 11 ページ  
9-3 M07 以降、ナビゲーション ..... 18ページ  
9-5 M06 以降、ラジオ / ナビゲーション ..... 27ページ  
携帯電話用アダプターハーネス

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
32 025 900	9:89-32	Jan 07	32 025 908	32 025 908 Nov 06





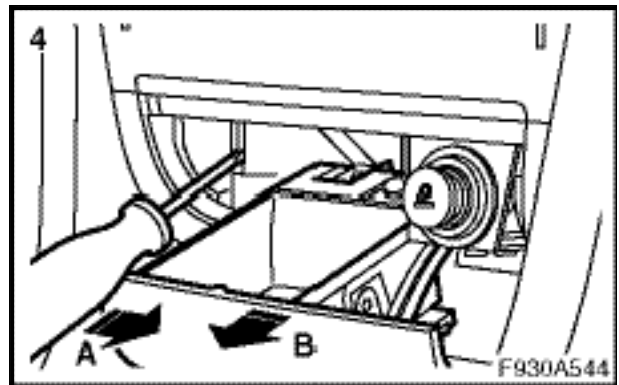
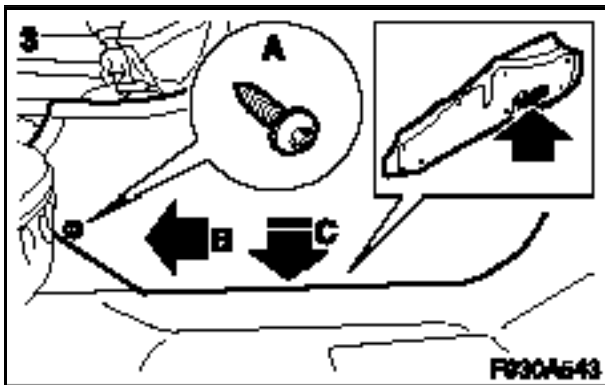
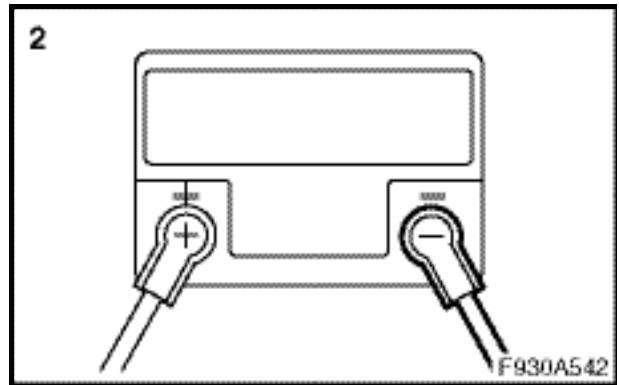
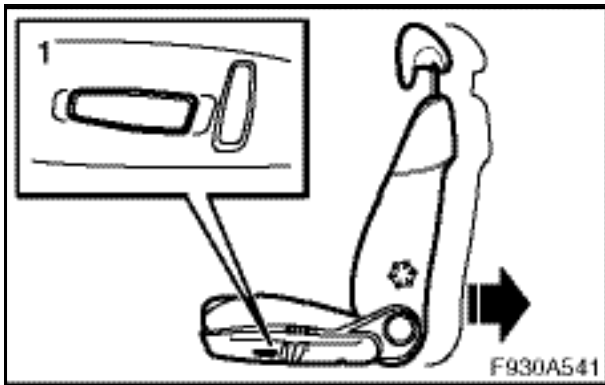
F930A540

**ナビゲーションシステムを装備した 9-3 (M07) の場合**

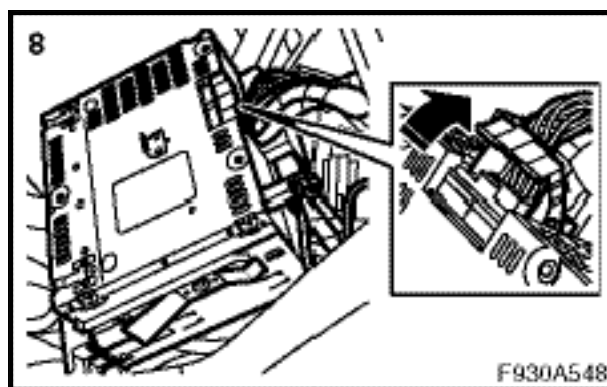
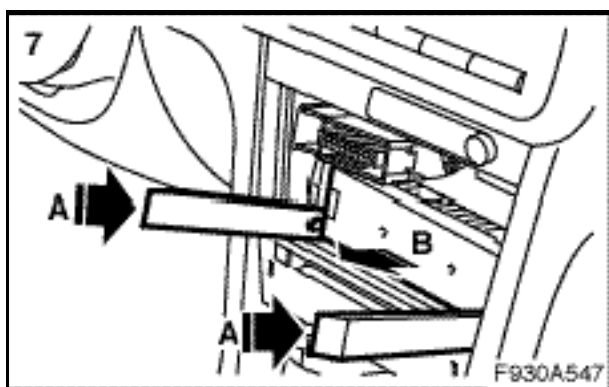
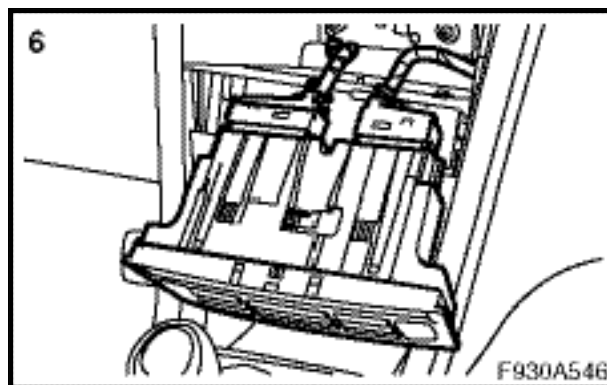
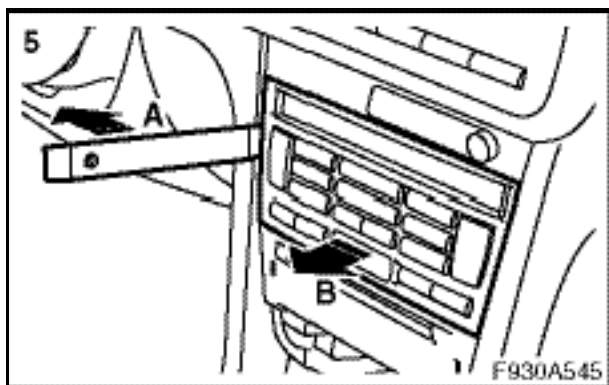
以下の部品はキットに含まれていないため、別注文となる：

- 電圧コンバーター
- コネクターハウジング
- ロック
- ケーブルターミナル

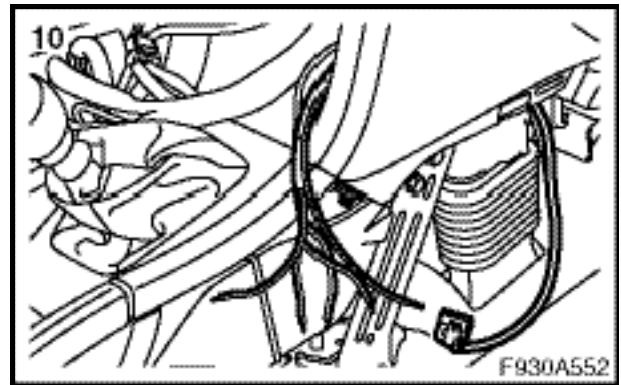
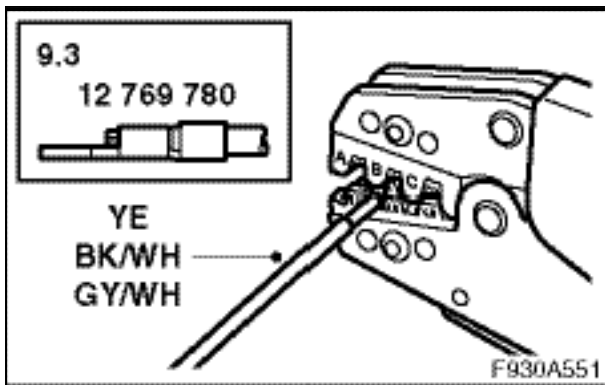
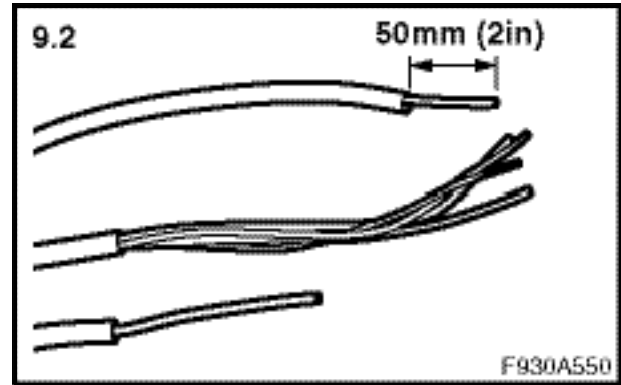
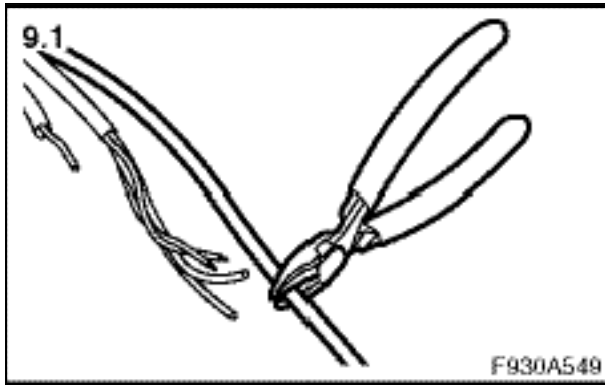
## 9-3 M03 ~ 06、ラジオ / ナビゲーション



- 1 助手席シートを、一番後方の位置に移動する。
- 2 バッテリーのマイナス極 (-) の接続を外す。
- 3 助手席側にあるフロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り外す。
- 4 灰皿 / 小物入れを取り外す。



- 5 ACC/MCC ユニットを取り外す。
- 6 コネクタの接続を外す。
- 7 メインユニットを取り外す（キャッチを押し入れてユニットを引き出す）。
- 8 メインユニットのコネクタの接続を外す。

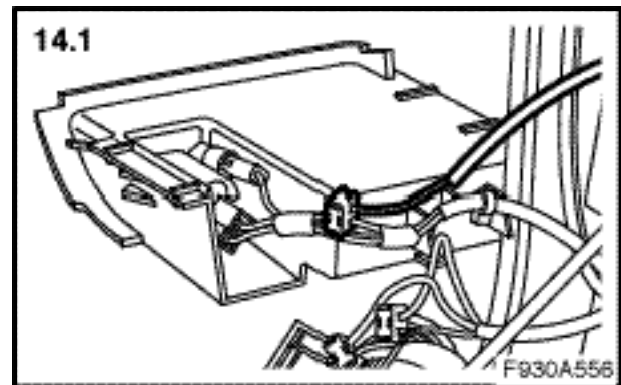
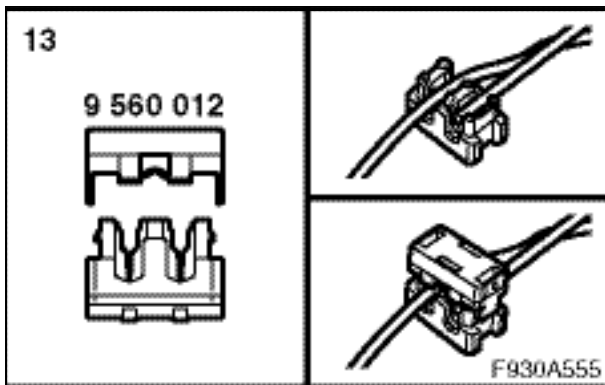
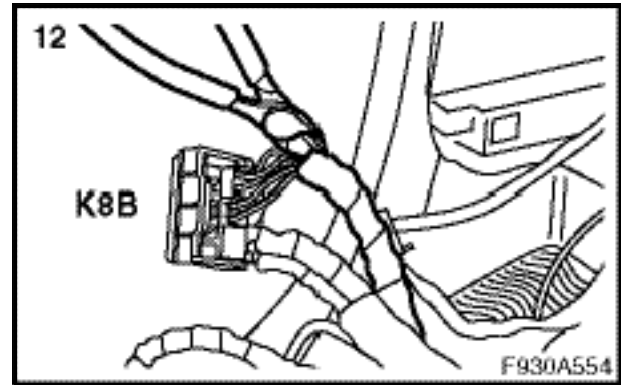
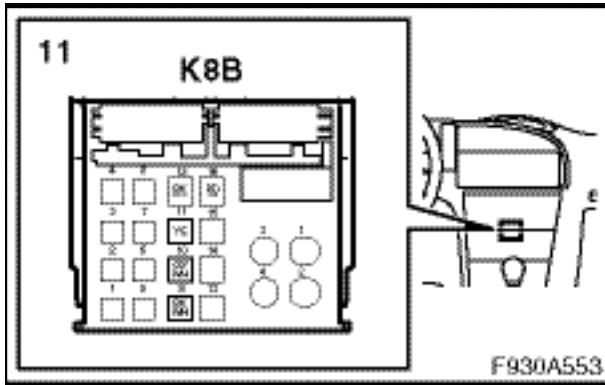


- 9 アダプターハーネス (32 025 898) を準備する:
- 9.1 黄色 (YE) のケーブルを、アダプターハーネス内の他のケーブルと同じ長さに切断する。
  - 9.2 ケーブルの被覆を、端から約 50 mm 剥ぎ取り、ケーブル端部を露出させる。
  - 9.3 ケーブルターミナル (12 769 780) を、アダプターハーネスの黒 / 白 (BK/WH)、グレー / 白 (GY/WH)、及び黄色 (YE) のケーブル端部に圧着する。

### 重要事項

必ず、プライヤーの正しい凹部を使用すること。ケーブルターミナルが確実に固定されているか確認すること。

- 10 アダプターハーネスを助手席側に配置する。

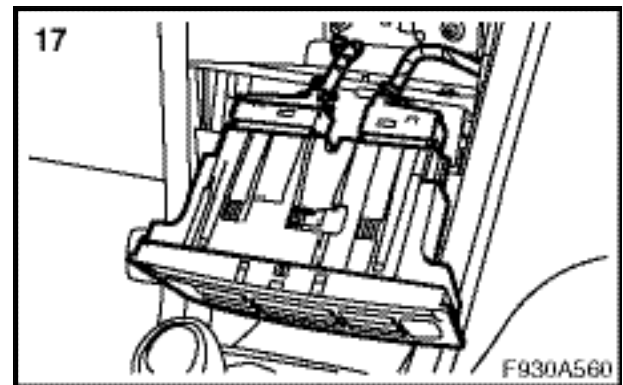
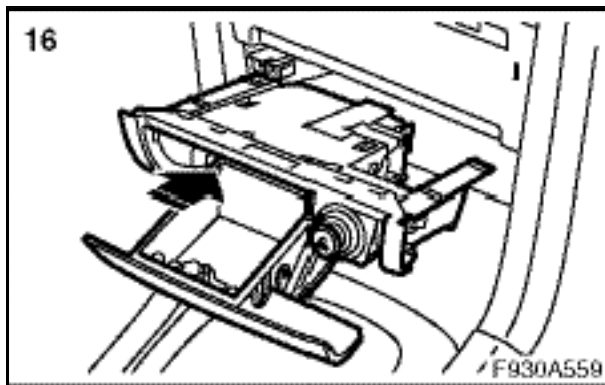
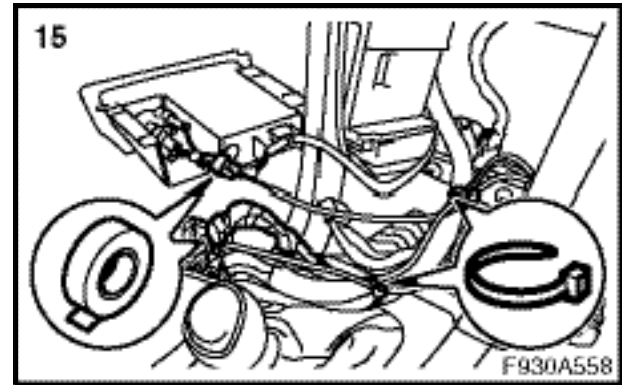
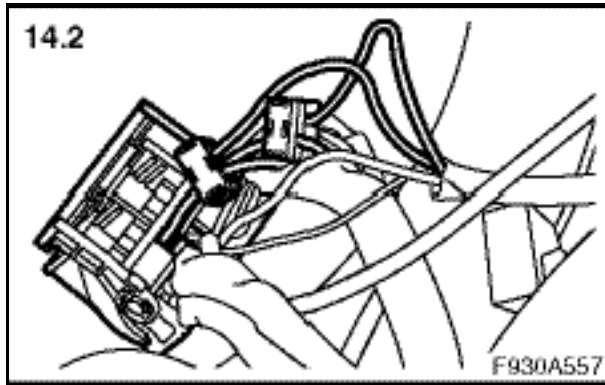


- 11 アダプターハーネスを車両に接続する：  
 黒 / 白 (BK/WH) -> K8B 位置 9 (アースライン)  
 グレー / 白 (GY/WH) -> K8B 位置 10 (出力ライン)  
 黄色 (YE) -> K8B 位置 11 (ミュート)
- 12 コネクター K8B に巻いてあるテープを、約 50 mm 切開する。
- 13 ワイヤハーネスをスプライス (接合) する。

### 重要事項

スプライス (接合) する際にワイヤハーネスを損傷しないように、ジョイントスリーブの圧着は一度だけ行うこと。

- 14 ジョイントスリーブを使用して、アダプターハーネスを車両に接続する。
- 14.1 赤 / 青 (RD/BU) -> 12V 電源ソケット 黒 (BK) (+15)



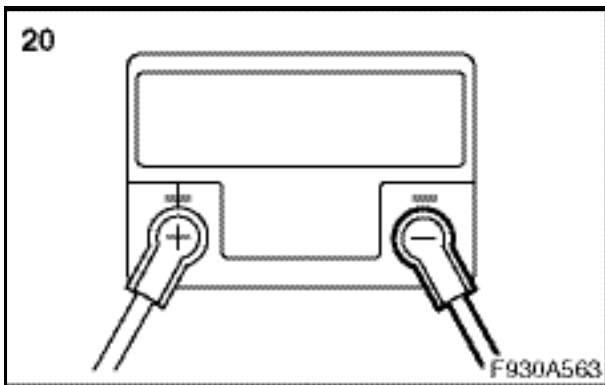
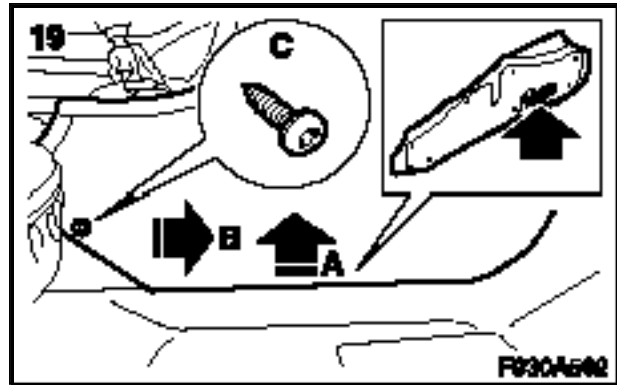
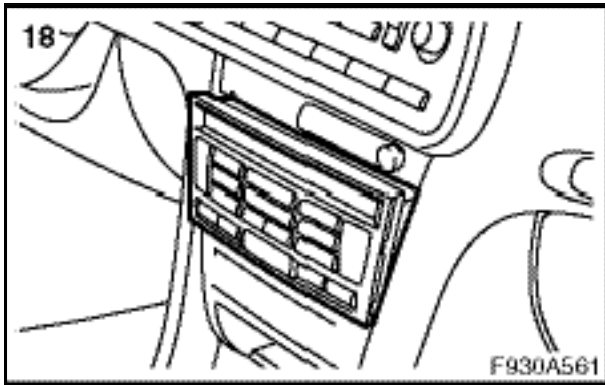
- 14.2黒 (BK) -> K8B 位置 12 (アース)  
赤 (RD) -> K8B 位置 16 (+30)

15 ワイヤハーネスの接合部分に、絶縁及び保護のため布テープを巻く。ワイヤハーネスを固定する。

### 重要事項

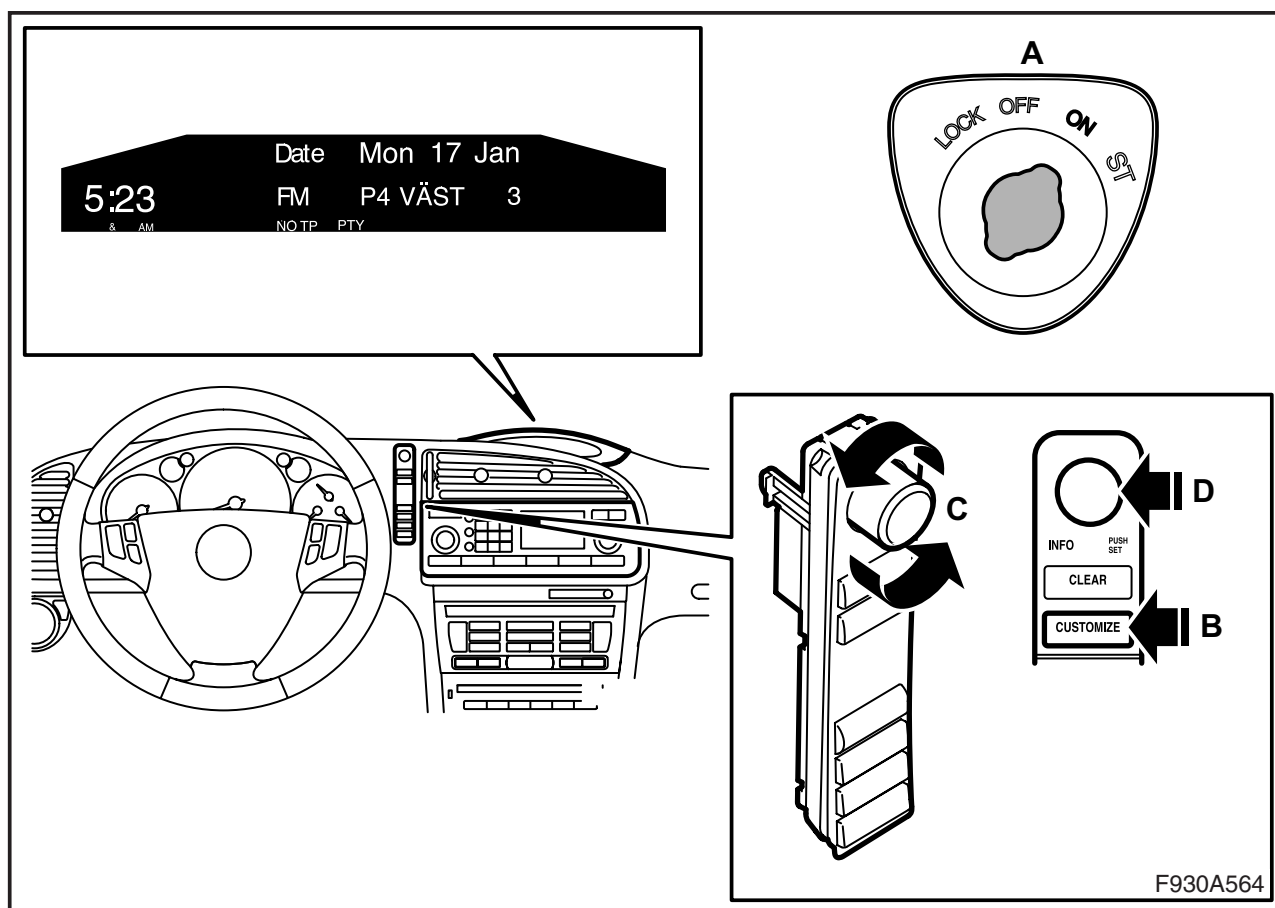
ワイヤハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

- 16 灰皿 / 小物入れを取り付ける。  
17 コネクターを接続する。



- 18 ACC/MCC ユニットを取り付ける。
- 19 フロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り付ける。
- 20 バッテリーのマイナス極 (-) を接続する。

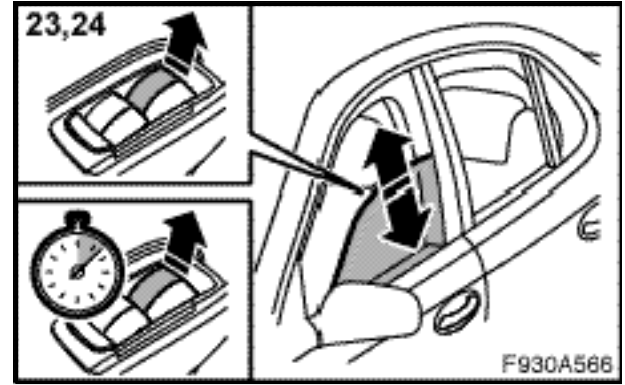
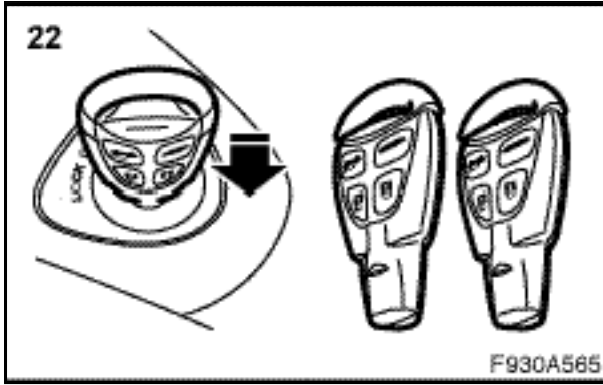




F930A564

21 次の手順に従って、日付と時刻を設定する：

- 21.1 イグニッションキーを ON 位置 (A) に回す。
- 21.2 SIDC (SID コントロールパネル) にある CUSTOMIZE ボタン (B) を押す。
- 21.3 INFO ノブ (C) を、ディスプレイに「Clock / Alarm」が表示されるまで回す。押して OK と確認する。
- 21.4 INFO ノブ (C) を、「Set Clock」が表示されるまで回す。押して OK と確認する。
- 21.5 INFO ノブ (C) を、「Manual」または「RDS adjust」が表示されるまで回す。正しい時刻に設定し、「OK」を押す。
- 21.6 INFO ノブ (C) を、「DATE」が表示されるまで回す。
- 21.7 ディスプレイに「YEAR 2000」が表示されるまで、INFO ノブ (D) を押し続ける。
- 21.8 INFO ノブ (C) を、正しい西暦年が表示されるまで回す。「OK」を押して確認する。
- 21.9 INFO ノブ (C) を、正しい月が表示されるまで回す。「OK」を押す。
- 21.10 INFO ノブ (C) を、正しい日が表示されるまで回す。「OK」を押す。



- 22 キーをイグニッションスイッチに差し込んで、リモコンのコードを同調させる。

### 重要事項

全てのリモコンを、キーをイグニッションスイッチに差し込んで同調させる必要があることを、顧客に通知する。この作業を行わないと、リモコンは機能しない。

- 23 **挟み込み防止機能を装備した車** - 次の手順に従って、車両に挟み込み防止機能を「学習」させる：



### 警告

電源接続を切った後では、パワーウインドーの較正を完了するまで、挟み込み防止機能は機能しない。

### 注記

電圧変動があるため、一度に1台の制御モジュールのみ較正すること。

- 23.1 ウィンドーを閉じる。  
**CV**(カブリオレ): ドアとソフトトップを閉じる。

- 23.2 インストルメントパネルの電気リカルセンター (IPEC) のヒューズ F5 を一旦外してから入れ直し、挟み込み防止機能をリセットする。これにより両方のドア制御モジュールの挟み込み防止機能がリセットされ、フロントウインドーを両方ともプログラムすることができる。

- 23.3 車を始動する。

- 23.4 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。

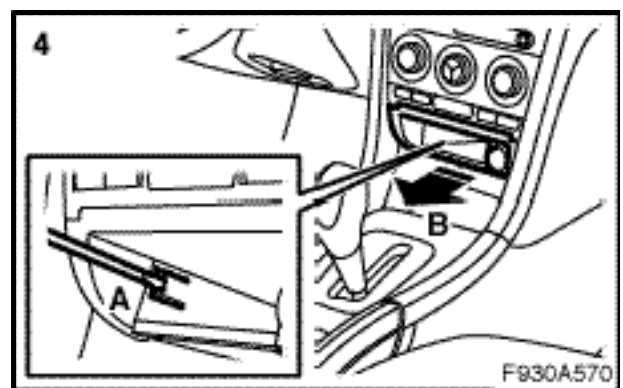
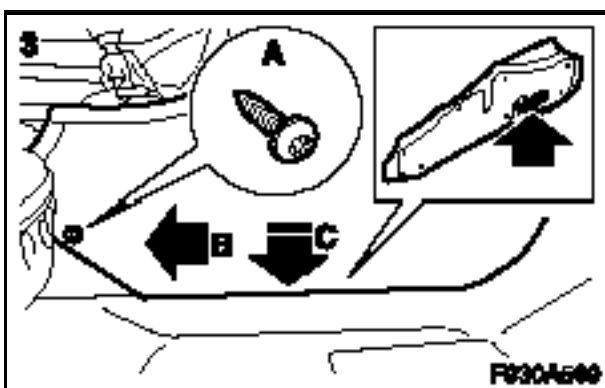
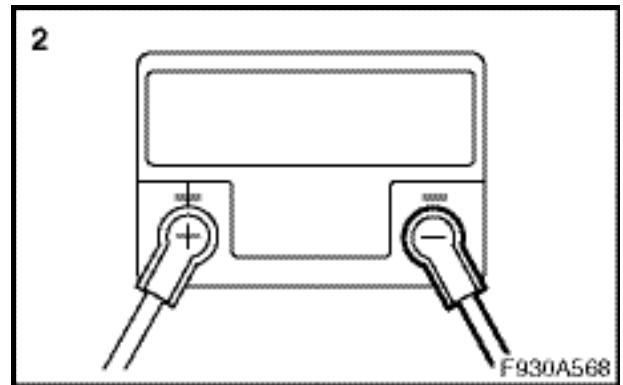
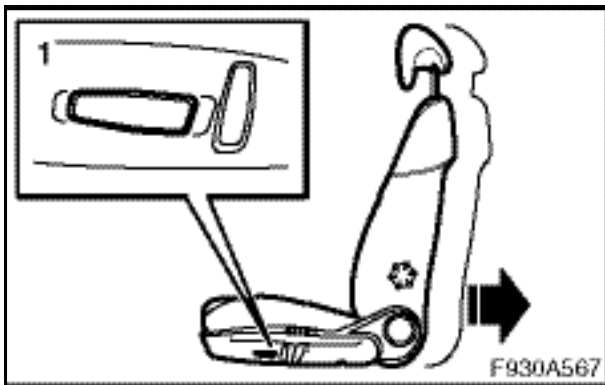
- 23.5 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。

- 23.6 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。

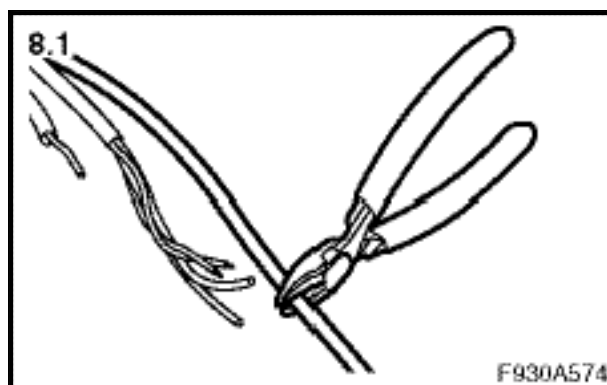
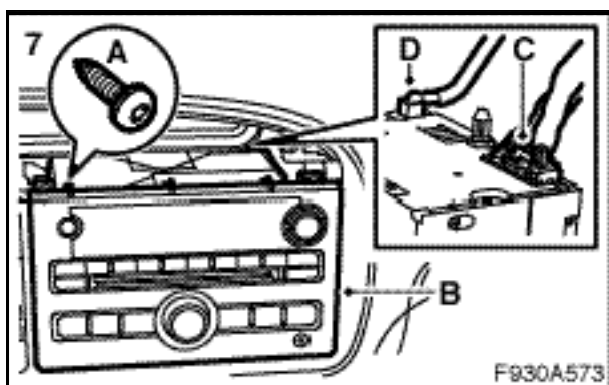
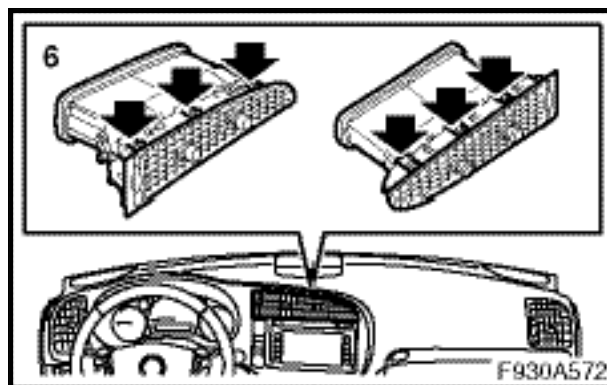
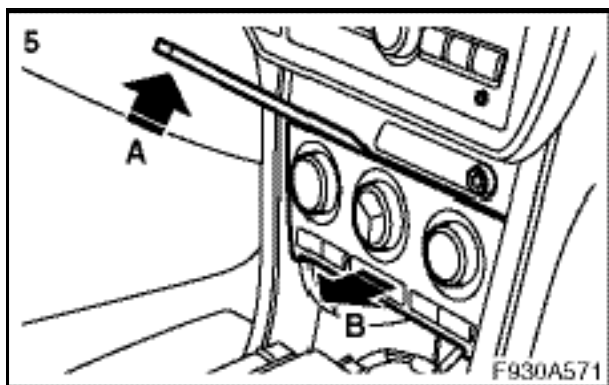
- 23.7 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。

- 23.8 較正が完了すると確認音が聞こえる。確認音が聞こえない場合、手順を繰り返す。

## 9-3 M07 以降、ラジオ



- 1 助手席シートを、一番後方の位置に移動する。
- 2 バッテリーのマイナス極 (-) の接続を外す。
- 3 助手席側にあるフロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り外す。
- 4 灰皿 / 小物入れを取り外す。



- 5 ACCユニットを取り外す。
- 6 インストルメントパネル中央の空気吹出口を、キャッチ (A) (グリルを通して手が届く) を注意深く曲げ入れて、取り外す。

### 重要事項

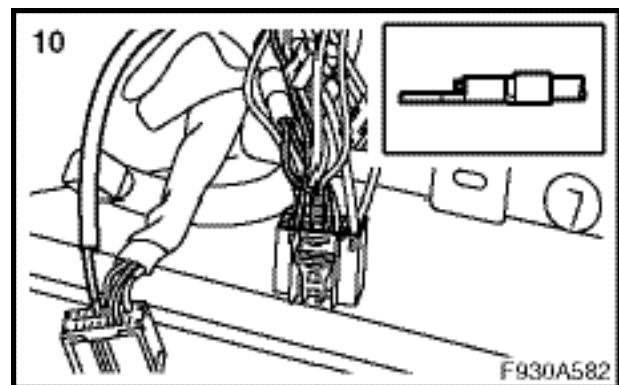
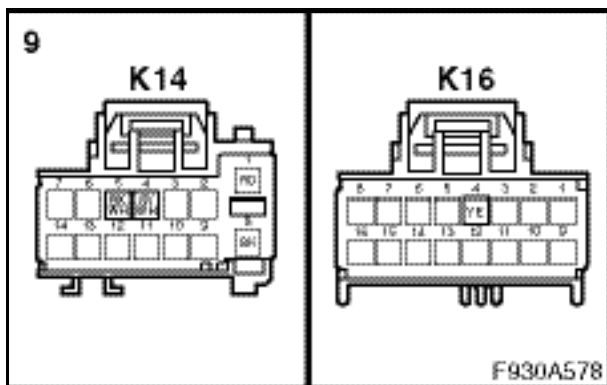
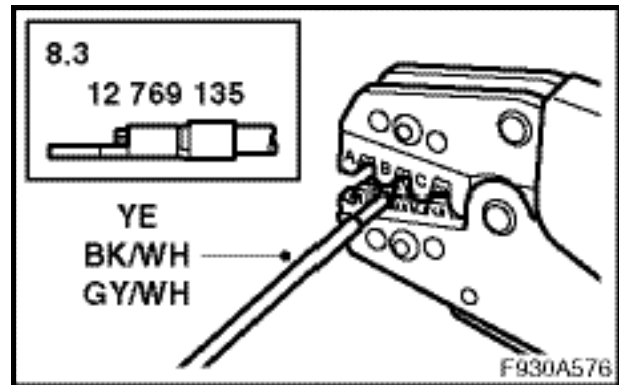
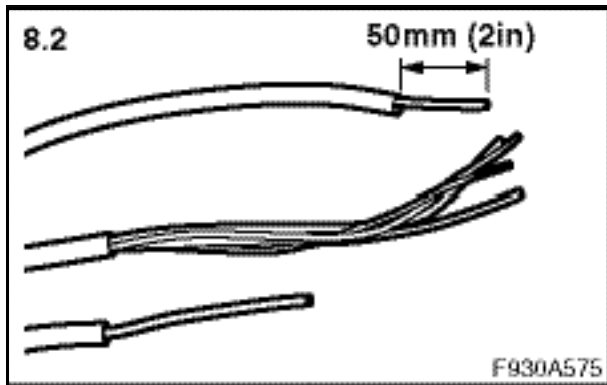
正しいキャッチ (A) を内側に曲げることが重要である。各空気吹出口を連結している各キャッチもグリルから見える。

- 7 固定用ネジ (A) を取り外し、ラジオユニット (B) を取り出す。コネクター (C) 及びアンテナケーブル (D) を取り外す。

### 重要事項

コネクターのロックキャッチを外すときは、コネクターを損傷させないように注意深く作業する。コネクターの接続を外すときは、ピンが曲がらないように真っ直ぐ引き抜く。

- 8 アダプターハーネス (32 025 898) を準備する：
  - 8.1 黄色 (YE) のケーブルを、アダプターハーネス内の他のケーブルと同じ長さに切断する。



8.2 ケーブルの被覆を、端から約 50 mm 剥ぎ取り、ケーブル端部を露出させる。

8.3 ケーブルターミナル (12 769 135) を、アダプターハーネスの黒 / 白 (BK/WH)、グレー / 白 (GY/WH)、及び黄色 (YE) のケーブル端部に圧着する。

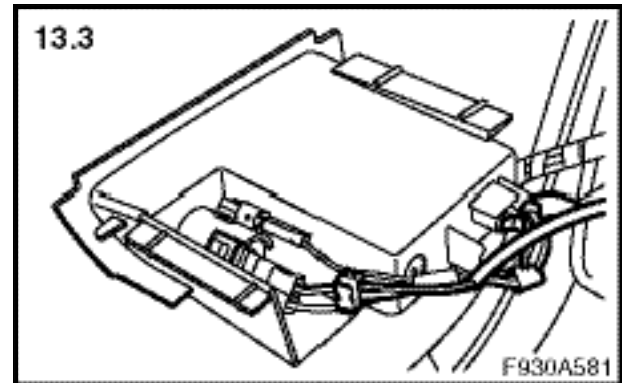
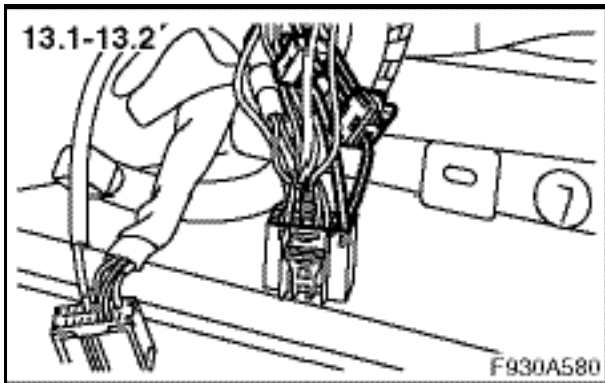
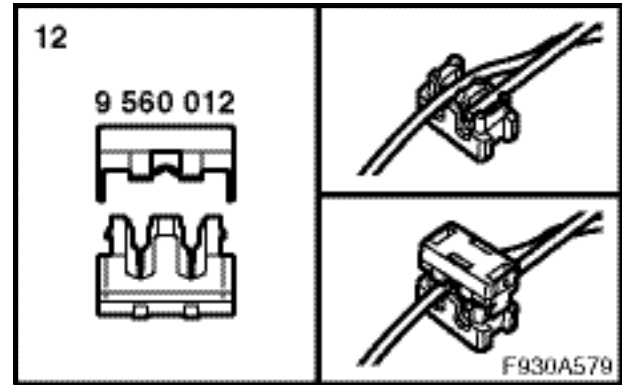
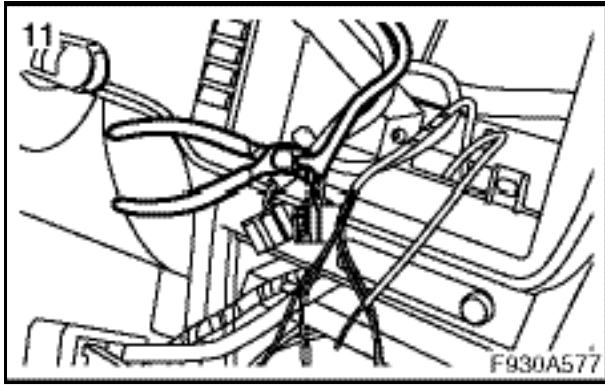
### 重要事項

必ず、プライヤーの正しい凹部を使用すること。ケーブルターミナルが確実に固定されているか確認すること。

9 (コネクターの概略図)

10 アダプターハーネスを車両に接続する :

- 10.1 黒 / 白 (BK/WH) -> K14 位置 5 (アースライン)
- 10.2 グレー / 白 (GY/WH) -> K14 位置 4 (出カライン)
- 10.3 黄色 (YE) -> K16 位置 4 (ミュート)



11 コネクターから約50 mmの位置でテープを切開し、ケーブルを出す。

12 ワイヤーハーネスをスプライス（接合）する。

### 重要事項

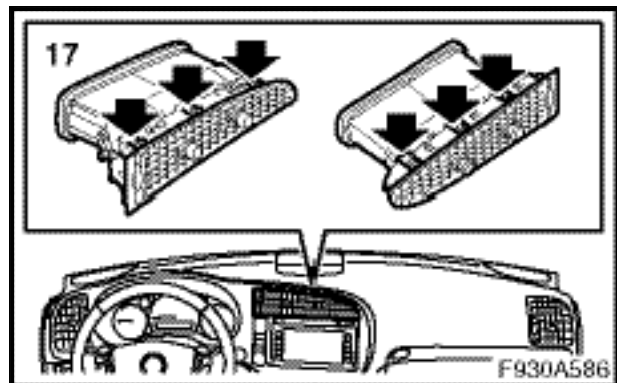
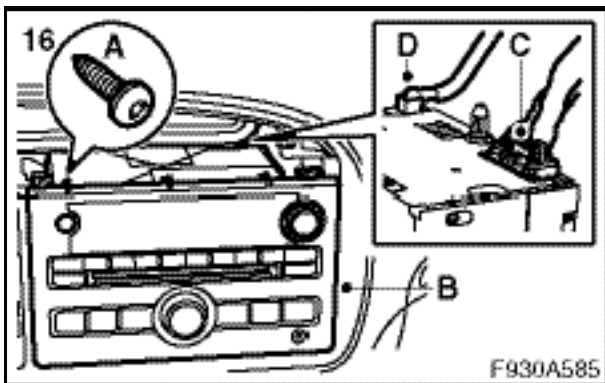
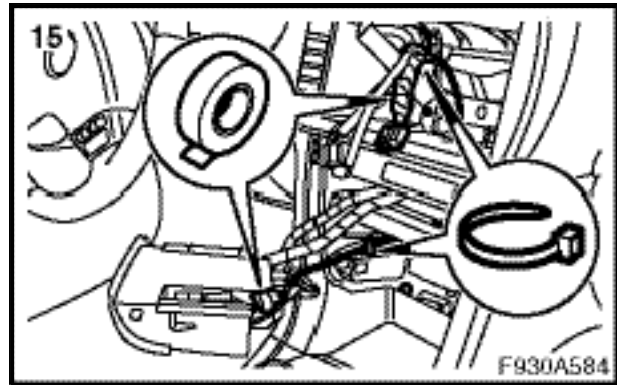
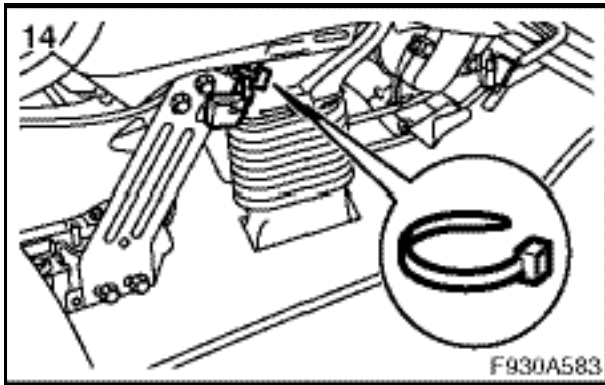
スプライス（接合）する際にワイヤーハーネスを損傷しないように、ジョイントスリーブの圧着は一度だけ行うこと。

13 ジョイントスリーブを使用して、アダプターハーネスを車両に接続する。

13.1黒 (BK) -> K14 位置 8 (アース)

13.2赤 (RD) -> K14 位置 1 (+30)

13.3赤 / 青 (RD/BU) -> 12V 電源ソケット 紫 / 青 (VT/BU) (+15)



- 14 アダプターハーネスのコンネクターを助手席側センターコンソールのサポートリムに配置し固定する。

### 重要事項

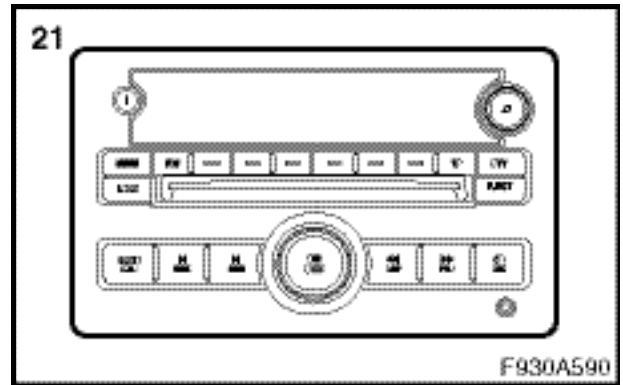
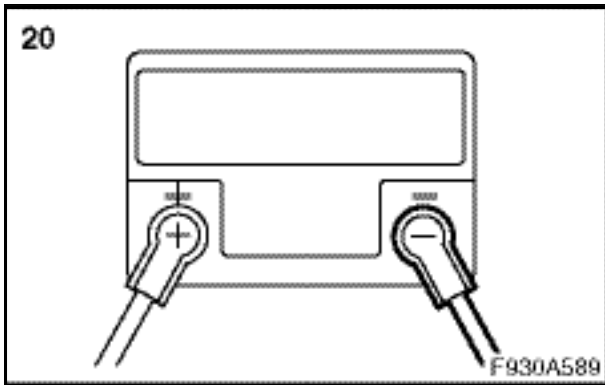
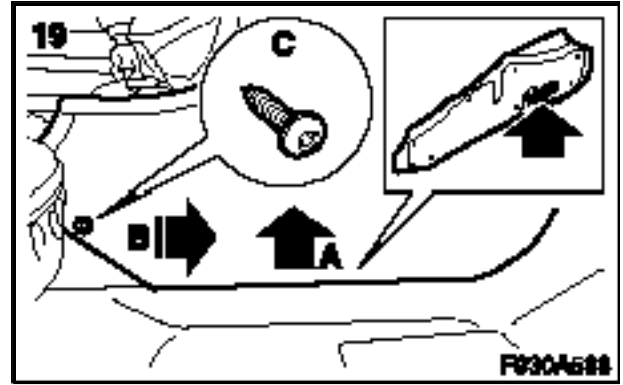
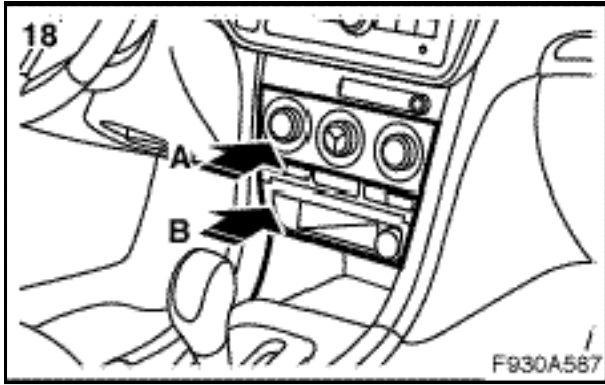
ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

- 15 ワイヤーハーネスの接合部分に、絶縁及び保護のため布テープを巻く。ワイヤーハーネスを固定する。

### 重要事項

ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

- 16 コネクターをラジオのメインユニット (C+D) に接続する。ラジオユニット (B) 及び固定用ネジ (A) を取り付ける。
- 17 空気吹出口を取り付ける。



- 18 ACC ユニット (A) 及び灰皿 / 小物入れ (B) を取り付ける。
- 19 フロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り付ける。
- 20 バッテリーのマイナス極 (-) を接続する。
- 21 オーディオシステムのメインユニットで、時刻と日付を設定する。

#### CD チェンジャーが付いていないオーディオシステムのマニュアル調整：

- 時計のボタンを押す。
- 変更したいメニューの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- もう一度メニューボタンを押し、時刻または日付を段階的に増やす。時刻または日付は、SEEK ボタン、FWD ボタン、または REV ボタンでも変更できる。

#### CD チェンジャー付きオーディオシステムのマニュアル調整：

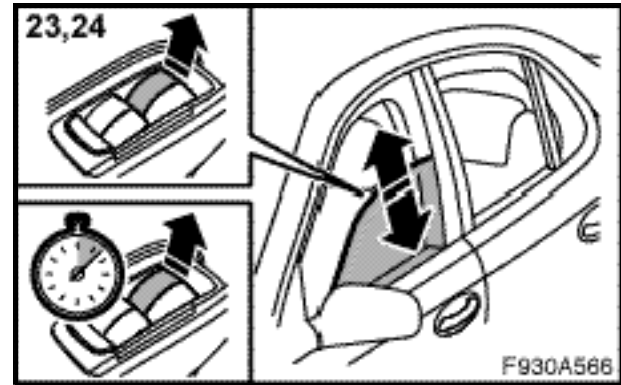
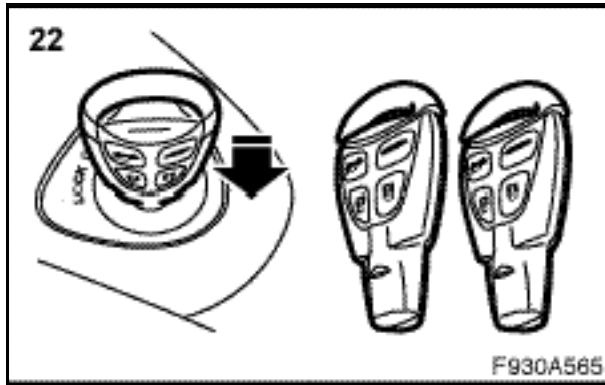
- MENU ボタンを押す。
- ディスプレイの、時計のシンボルの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- 変更したいメニューの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- もう一度メニューボタンを押し、時刻または日付を段階的に増やす。時刻または日付は、SEEK ボタン、FWD ボタン、または REV ボタンでも変更できる。

#### RDS 時刻の自動調整：

RDS 時刻を受信するためには、通常の受信状態及び実際のラジオ局が RDS 時刻 (CT-Clock Time) 用信号を送信していることが必要である。

- 時計メニューで、ディスプレイの矢印の真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- メニューで RDS 時刻の真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- これにより時刻の調整は自動的に行われ、ディスプレイに「RDS 時刻に変更」と表示される。時刻情報が無い場合、または RDS 受信状態が悪い場合は、ディスプレイに「RDS 時刻受信不可能」と表示される。





- 22 キーをイグニッションスイッチに差し込んで、リモコンのコードを同調させる。

### 重要事項

これは必ず全てのキーで実施すること。さもないと、リモコンが正しく作動しない。

- 23 挟み込み防止機能を装備した車 - 次の手順に従って、車両に挟み込み防止機能を「学習」させる：



**警告**

電源接続を切った後では、パワーウインドーの較正を完了するまで、挟み込み防止機能は機能しない。

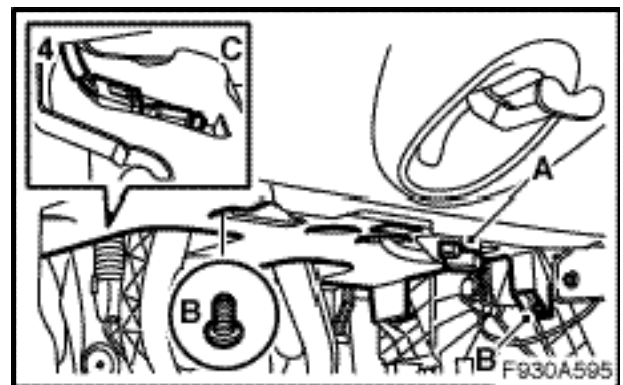
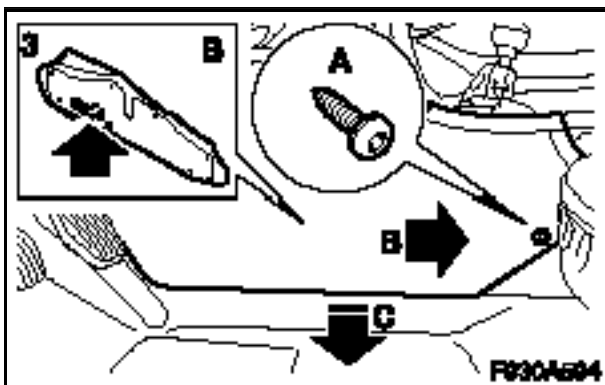
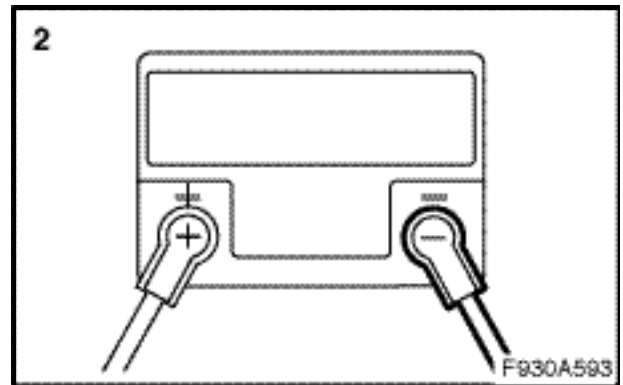
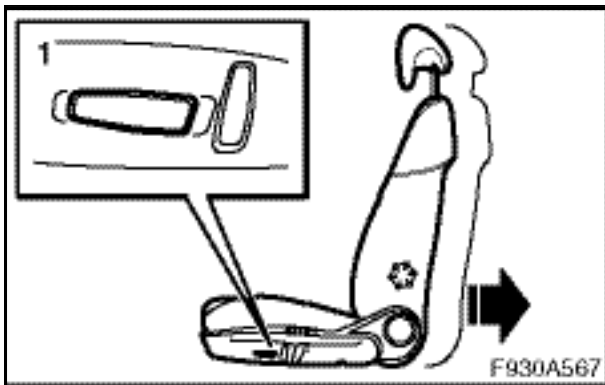
### 注記

電圧変動があるため、一度に1台の制御モジュールのみ較正すること。

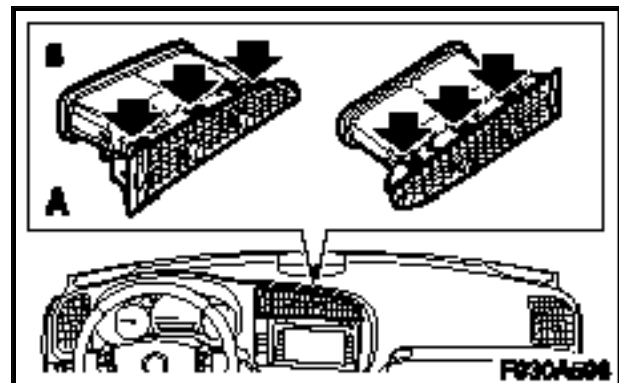
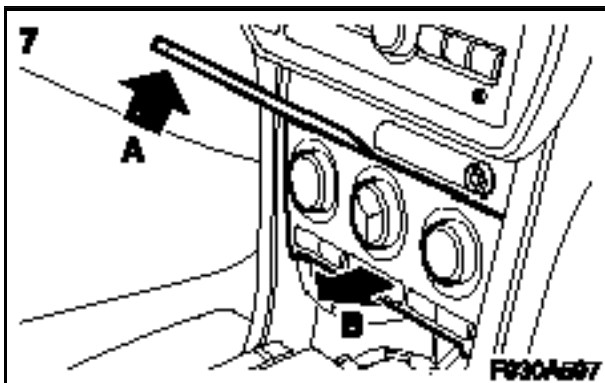
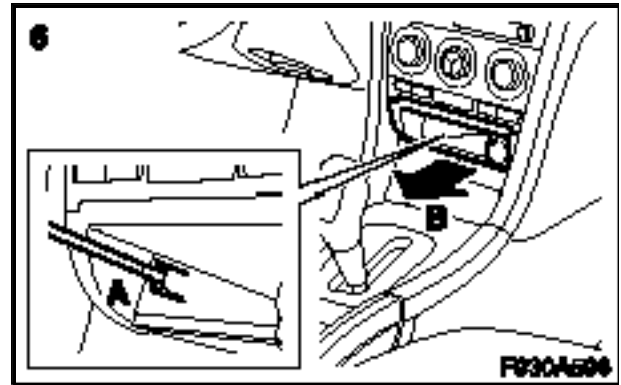
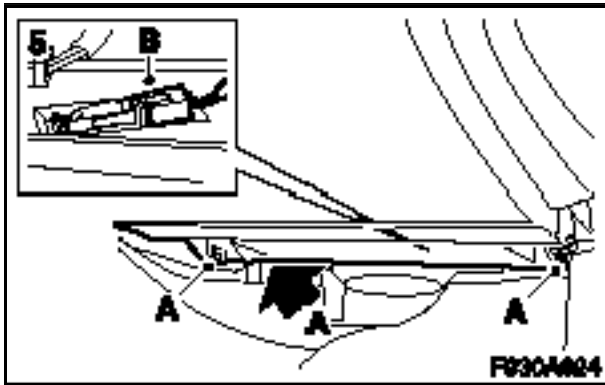
- 23.1 ウィンドーを閉じる。  
**CV**(カブリオレ): ドアとソフトトップを閉じる。
- 23.2 インstrumentパネルの電気カルセンター (IPEC) のヒューズ F5 を一旦外してから入れ直し、挟み込み防止機能をリセットする。これにより両方のドア制御モジュールの挟み込み防止機能がリセットされ、フロントウインドーを両方ともプログラムすることができる。
- 23.3 車を始動する。

- 23.4 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。
- 23.5 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。
- 23.6 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。
- 23.7 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。
- 23.8 較正が完了すると確認音が聞こえる。確認音が聞こえない場合、手順を繰り返す。

## 9-3 M07 以降、ナビゲーション



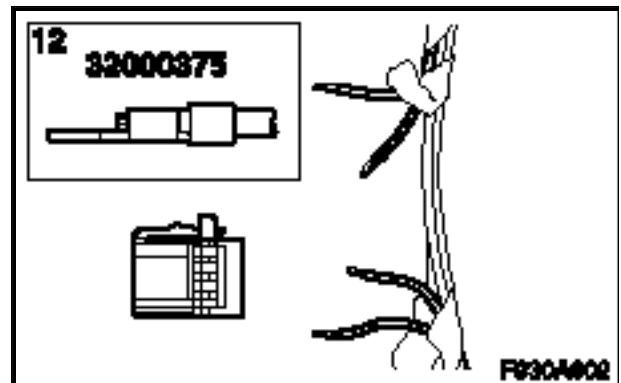
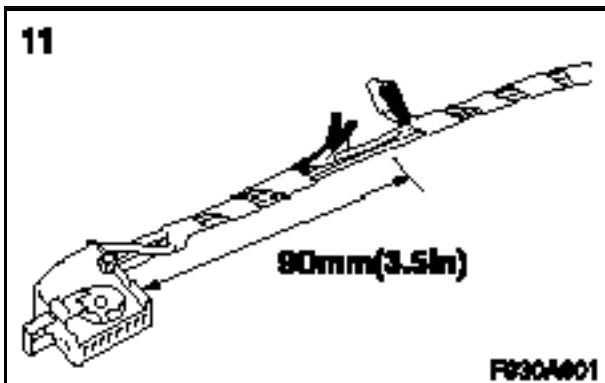
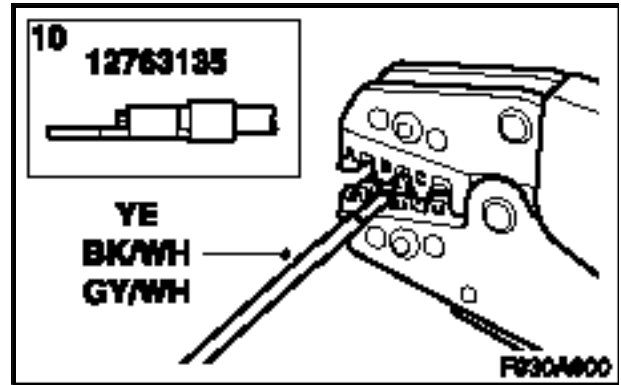
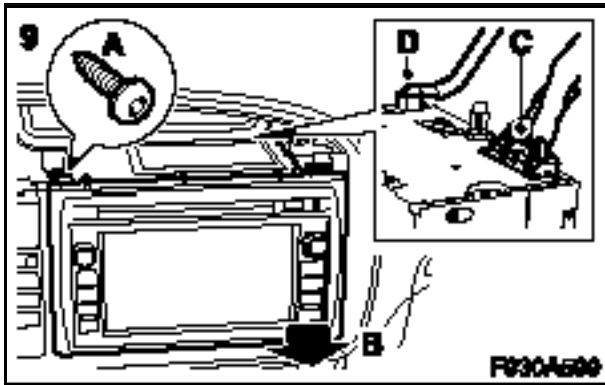
- 1 助手席シートを、一番後方の位置に移動する。  
LHD: 運転席シートを、一番後方の位置に移動する。
- 2 バッテリーのマイナス極 (-) の接続を外す。
- 3 助手席側にあるフロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り外す。  
LHD: 運転席側にあるフロアコンソール前側のサイドプロテクションを取り外す。
- 4 LHD: 運転席側にある診断ソケット (A)、サウンドシールド (B) 及びフロア照明のコネクター (C) を取り外す。



- 5 RHD : 助手席側にあるサウンドシールド (A) とフロア照明 (B) を取り外す。
- 6 ドライバーを使用して、灰皿/小物入れを取り外す。
- 7 ACCユニットを取り外す。
- 8 インstrumentパネル中央の空気吹出口を、キャッチ (A) (グリルを通して手が届く) を注意深く曲げ入れて、取り外す。

### 重要事項

正しいキャッチ (A) を内側に曲げることが重要である。各空気吹出口を連結している各キャッチもグリルから見える。



9 固定用ネジ (A) を取り外し、ナビゲーションユニット (B) を取り出す。コネクタ (C) 及びアンテナケーブル (D) を取り外す。

12 コネクター (12 789 432) をアダプターハーネスに接続する。

12.1 ケーブルターミナル (32 000 375) をケーブル端部に圧着する。

12.2 以下のように接続する：  
 グレー / 白 (GY/WH) -> 1 (コネクターに)  
 黒 / 白 (BK/WH) -> 2 (コネクターに)  
 グレー / 白 (GY/WH) -> 3  
 黒 / 白 (BK/WH) -> 4。

### 重要事項

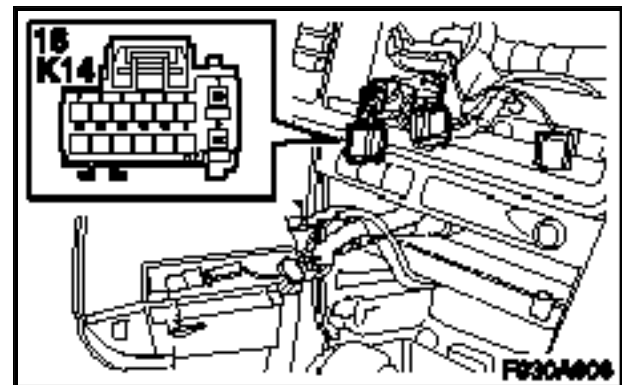
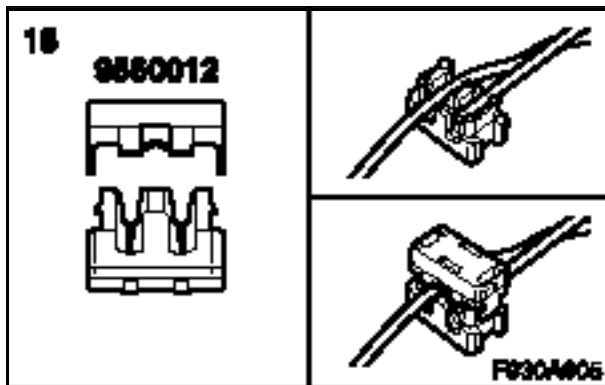
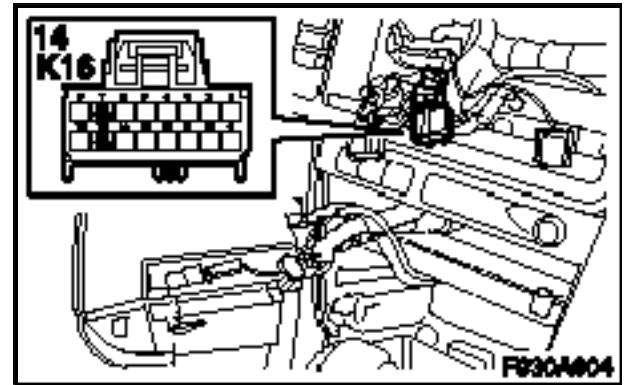
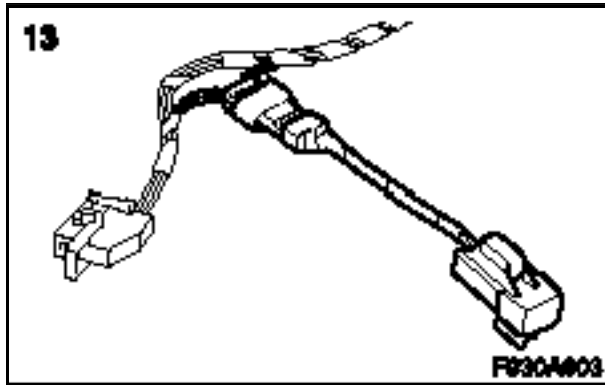
コネクタのロックキャッチを外すときは、コネクタを損傷させないように注意深く作業する。コネクタの接続を外すときは、ピンが曲がらないように真っ直ぐ引き抜く。

10 ケーブルターミナル (32 000 135) を、アダプターハーネスの黒 / 白 (BK/WH) 、グレー / 白 (GY/WH) 、及び黄色 (YE) のケーブル端部に圧着する。

### 重要事項

必ず、プライヤーの正しい凹部を使用すること。ケーブルターミナルが確実に固定されているか確認すること。

11 アダプターハーネスのコネクターから約 90 mm の位置で、テープを数 cm 切開する。このコネクターから同じく約 90 mm の位置で、グレー / 白 (GY/WH) のワイヤー及び黒 / 白 (BK/WH) のワイヤーを切断する。

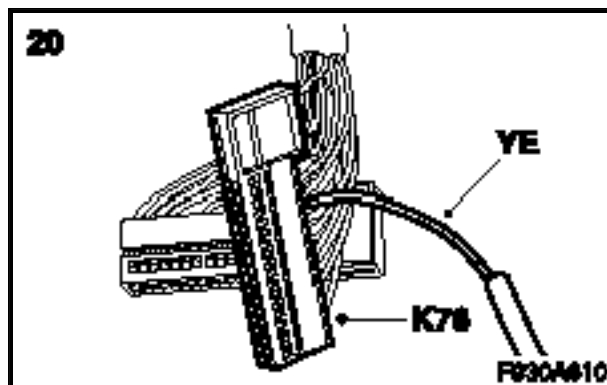
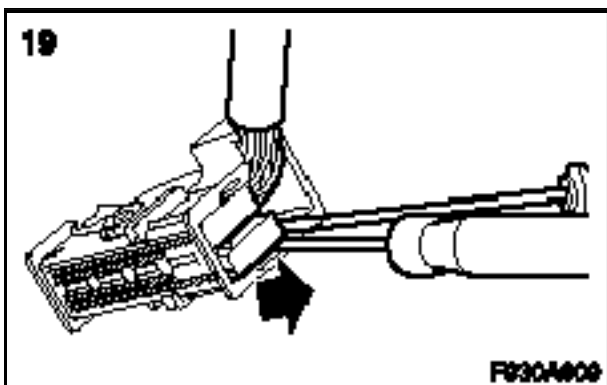
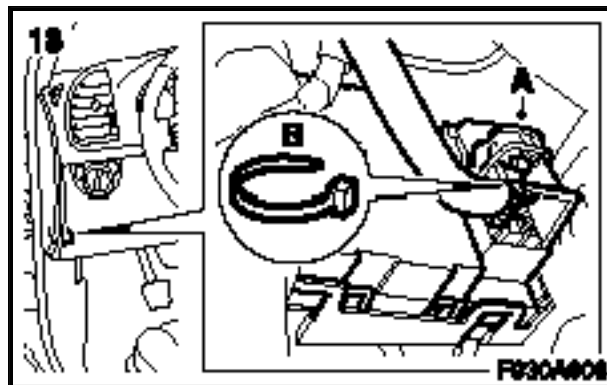
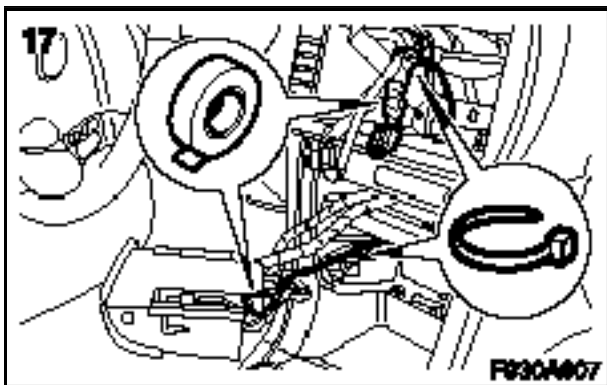


- 13 電圧コンバーター (12 769 716) をアダプターハーネスに接続する。
- 14 アダプターハーネスを車両に接続する：  
 14.1 グレー/白 (GY/WH) -> K16 位置7 (出力ライン)  
 14.2 BK/WH -> K16 位置15 (アースライン)
- 15 ワイヤーハーネスをスプライス (接合) する。

### 重要事項

スプライス (接合) する際にワイヤーハーネスを損傷しないように、ジョイントスリーブの圧着は一度だけ行うこと。

- 16 ジョイントスリーブを使用して、アダプターハーネスを車両に接続する。
- 赤 (RD) -> K14 位置1 (+30)  
 黒 (BK) -> K14 位置8 (アース)  
 赤 / 青 (RD/BU) -> 12V 電源ソケット (青 / 紫)  
 BU/VT (+15)

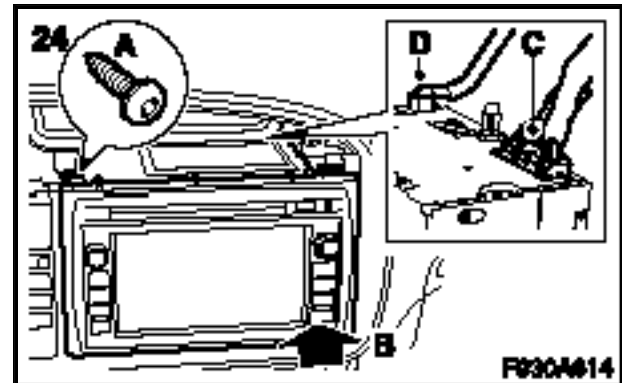
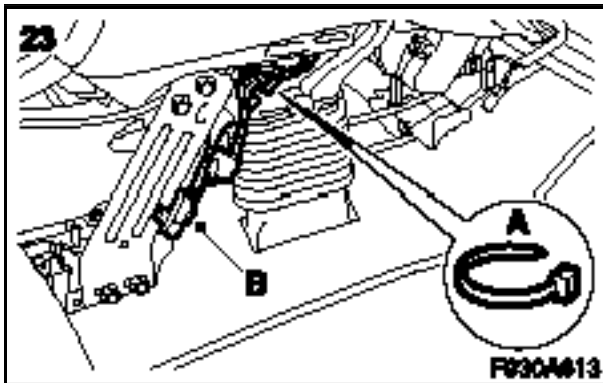
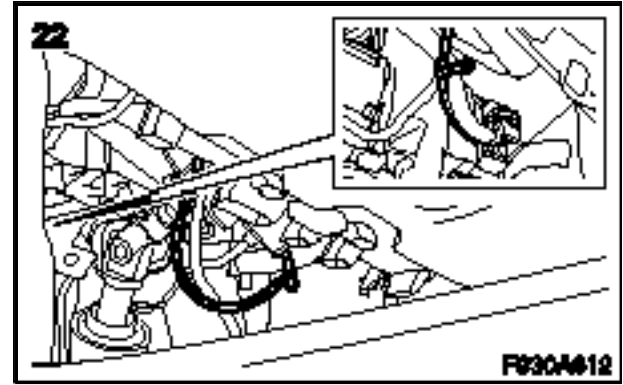
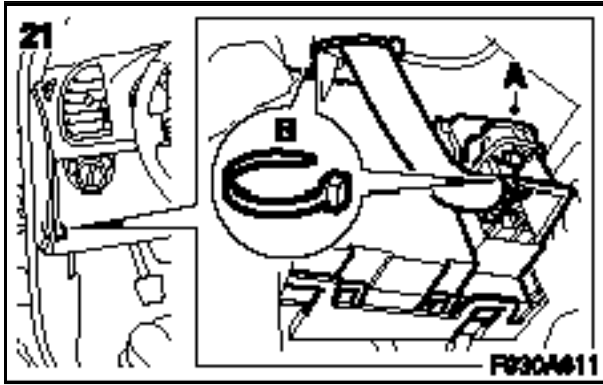


- 17 アダプターハーネスのコネクターを助手席側センターコンソールのサポートリムに配置する。ワイヤーハーネスの接合部分に、絶縁及び保護のため布テープを巻き、ワイヤーハーネスを固定する。

### 重要事項

ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

- 18 キャッチ (A) を押して開き、ケーブルタイ (B) を切断し、BCM プラグを取り除く。
- 19 このプラグからコネクターを分離する (こじって離し、引き抜く)。
- 20 アダプターハーネスの黄色 (YE) のケーブルを、BCM K78 (グレーのコネクター) の位置 36 (ミュート) に接続する。



21 全コネクターをプラグに接続し、プラグ (A) を接続し、ケーブルタイ (B) で固定する。

#### 重要事項

ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

22 アダプターハーネスをケーブルタイで固定する。

#### 重要事項

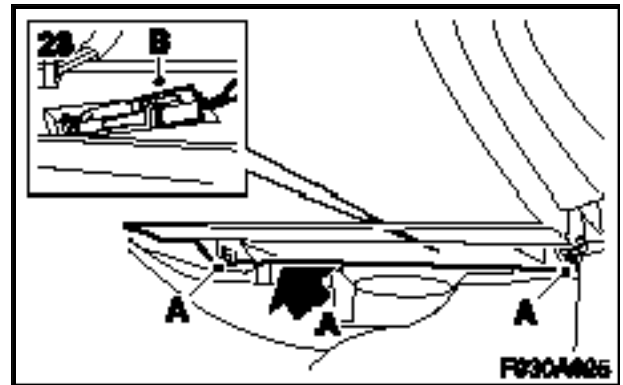
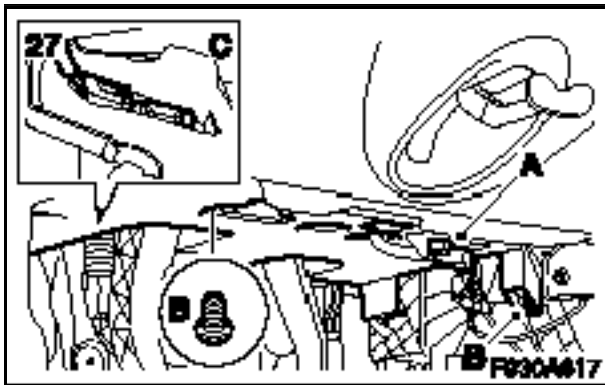
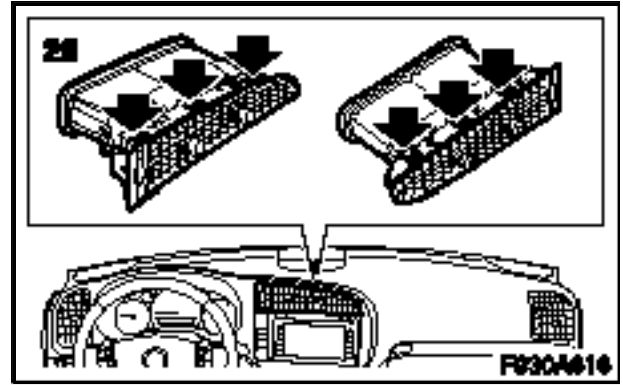
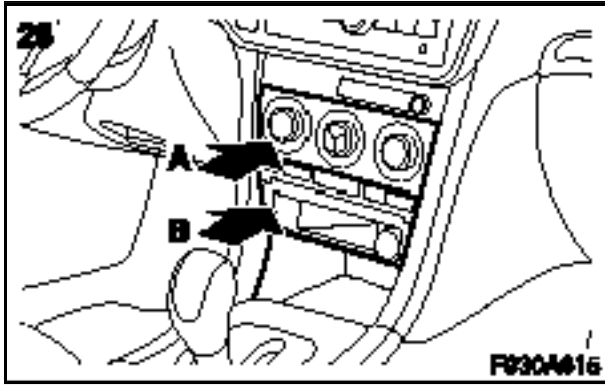
ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

23 アダプターハーネスを助手席側センターコンソールに配置する。ケーブルタイ (A) とクリップ (B) で固定する。

#### 重要事項

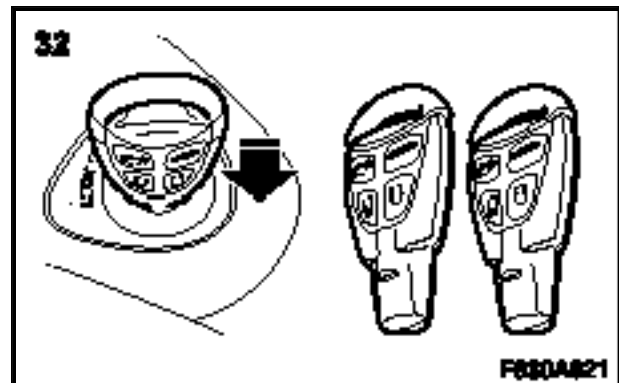
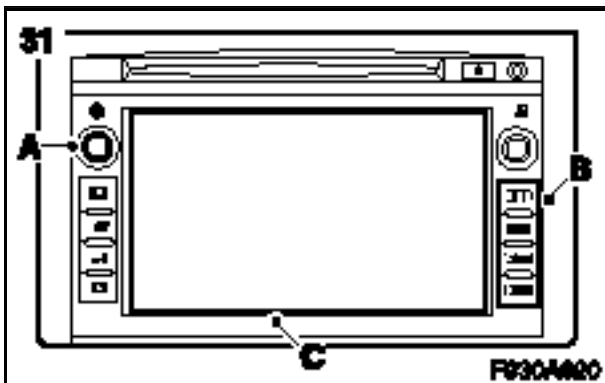
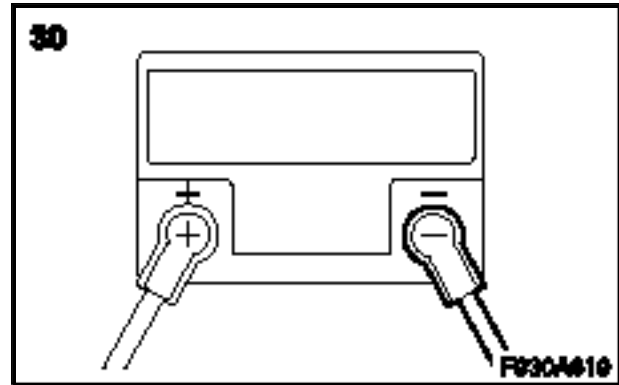
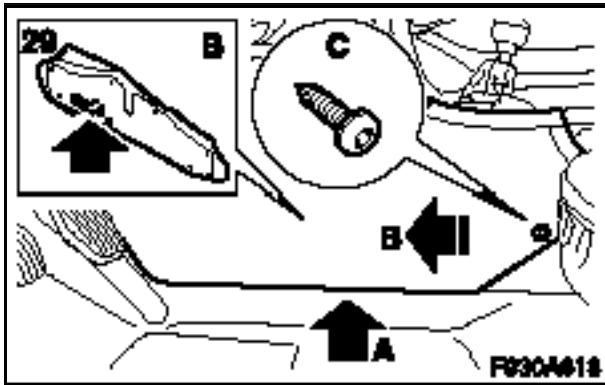
ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

24 コネクターをラジオのメインユニット (C+D) に接続する。ナビゲーションユニット (B) 及び固定用ネジ (A) を取り付ける。



- 25 ACC ユニット (A) 及び灰皿 / 小物入れ (B) を取り付ける。
- 26 空気吹出口を取り付ける。
- 27 **LHD**: フロア照明のコンネクター (C)、サウンドシールド (B) 及び診断ソケット (A) を取り付ける。
- 28 **RHD**: フロア照明のコンネクター (B) とサウンドシールド (A) を取り付ける。





- 29 フロアコンソールのサイドピースを取り付ける。  
 30 バッテリーのマイナス極 (-) を接続する。  
 31 次の手順に従って、時刻を設定する：

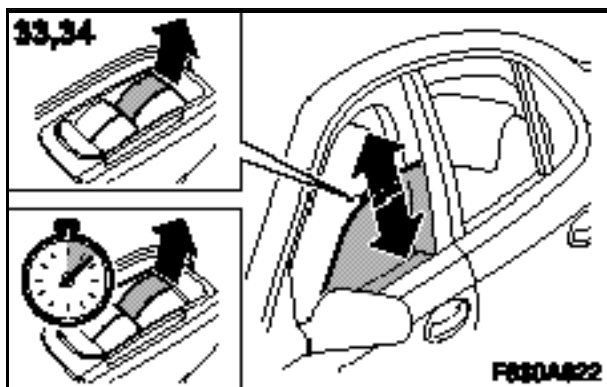
### 注記

本ユニットはタッチパネル機能を装備し、時刻のみ表示する。ナビゲーションシステムはGPS信号により正確な日付を受信する。日付は、サービス等、その他の車両作業に使用され、ディスプレイには表示されない。

- 31.1 イグニッションを ON 位置にする。
  - 31.2 オーディオシステム (A) を起動する。
  - 31.3 時計のタブが起動するまで、MENU (B) を押し続ける。
  - 31.4 タッチスクリーン (C) で RDS 時刻かマニュアル調整を選択する。RDS 時刻を受信するためには、通常の受信状態及び実際のラジオ局が RDS 時刻 (CT-Clock Time) 用信号を送信していることが必要である。
- 32 キーをイグニッションスイッチに差し込んで、リモコンのコードを同調させる。

### 重要事項

これは必ず全てのキーで実施すること。さもないと、リモコンが正しく作動しない。



**33 挟み込み防止機能を装備した車** - 次の手順に従って、車両に挟み込み防止機能を「学習」させる：



**警告**

電源接続を切った後では、パワーウインドーの較正を完了するまで、挟み込み防止機能は機能しない。

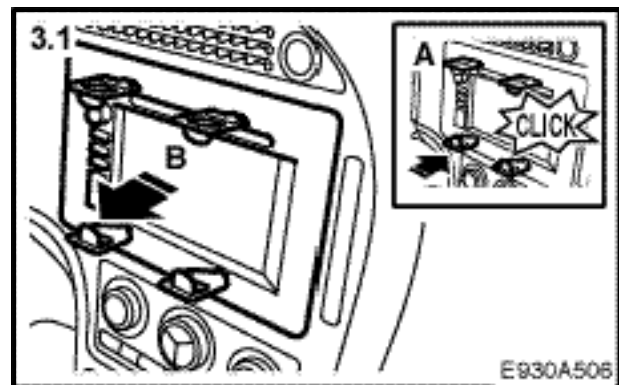
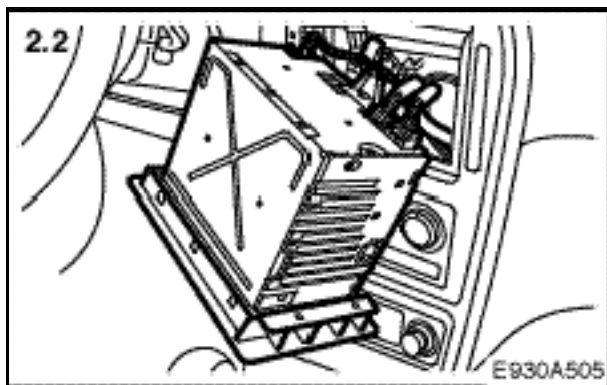
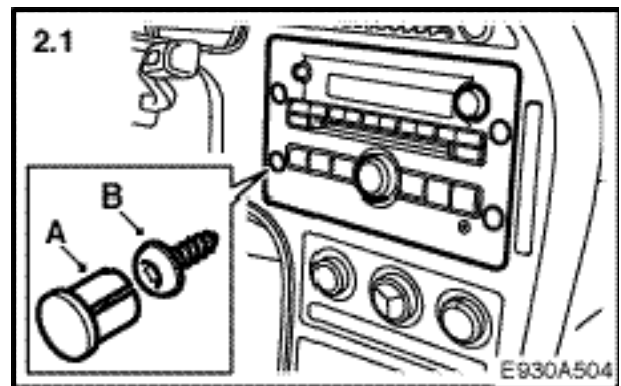
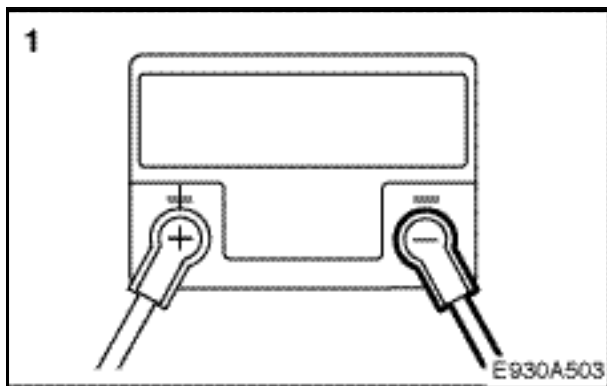
**注記**

電圧変動があるため、一度に1台の制御モジュールのみ較正すること。

- 33.1 ウィンドーを閉じる。  
**CV**(カブリオレ)：ドアとソフトトップを閉じる。
- 33.2 インstrumentパネルの電気カルセンター (IPEC) のヒューズ F5 を一旦外してから入れ直し、挟み込み防止機能をリセットする。これにより両方のドア制御モジュールの挟み込み防止機能がリセットされ、フロントウインドーを両方ともプログラムすることができる。
- 33.3 車を始動する。
- 33.4 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。
- 33.5 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。
- 33.6 ウィンドーを完全に下げる。下がっている間、ボタンを押し続けること。

- 33.7 ウィンドーを完全に上げる。上がっている間、ボタンを押し続けること。ウィンドーが一番上の位置に達しても、1秒以上押し続ける。
- 33.8 較正が完了すると確認音が聞こえる。確認音が聞こえない場合、手順を繰り返す。

## 9-5 M06 以降、ラジオ / ナビゲーション



1 バッテリーのマイナス極 (-) の接続を外す。

2 **ラジオ装備車：**

2.1 プラグ (A) 及びネジ (B) を取り外す。

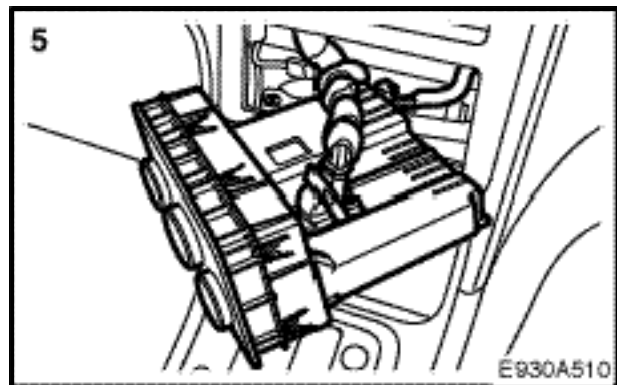
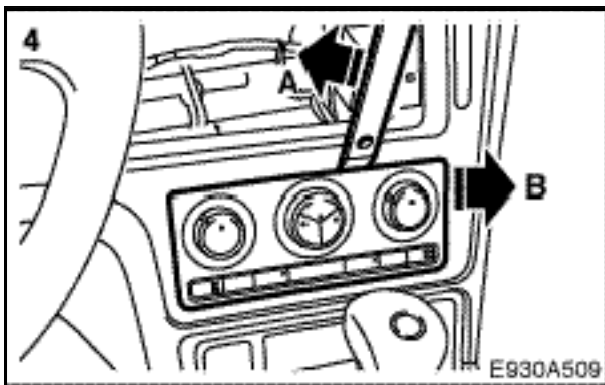
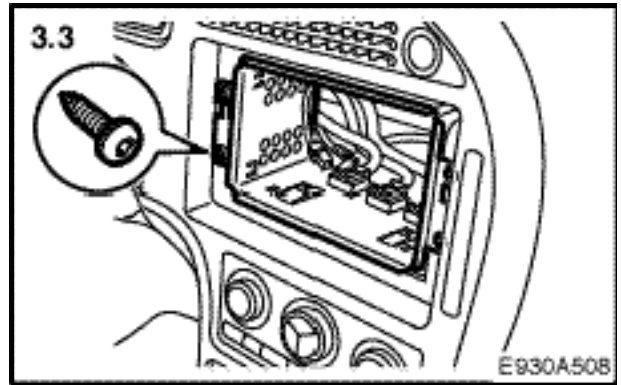
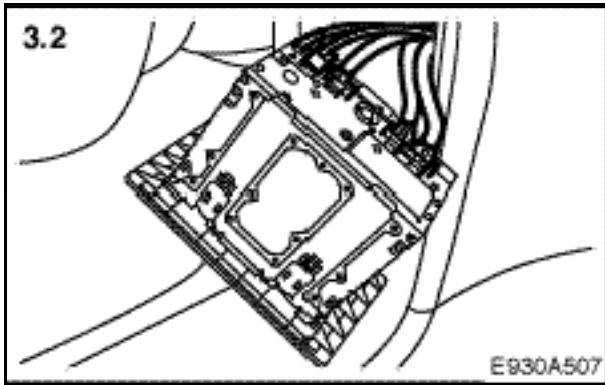
### 重要事項

プラグは、テープなどを貼り付けて引っ張り、取り外す。

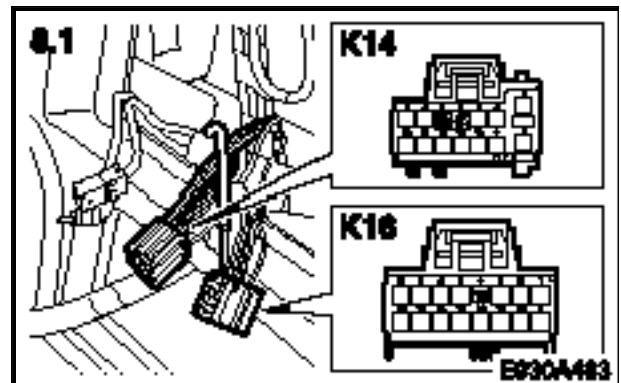
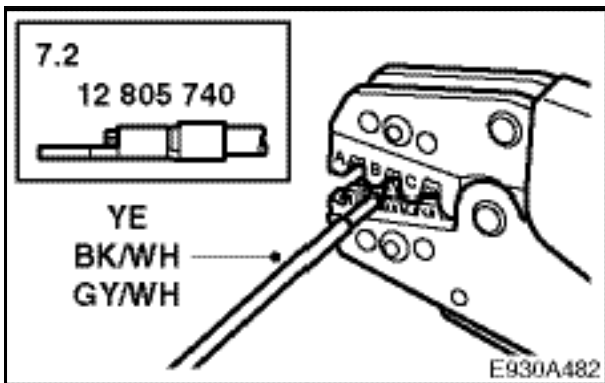
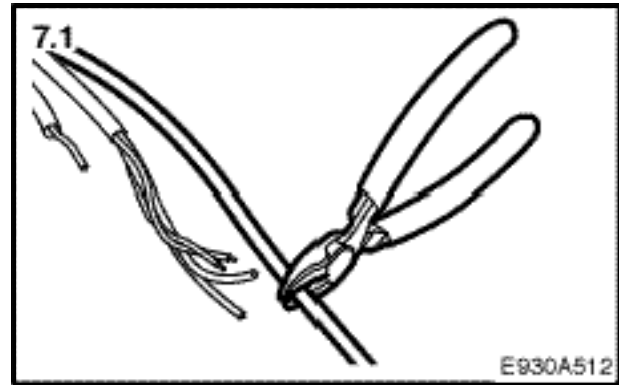
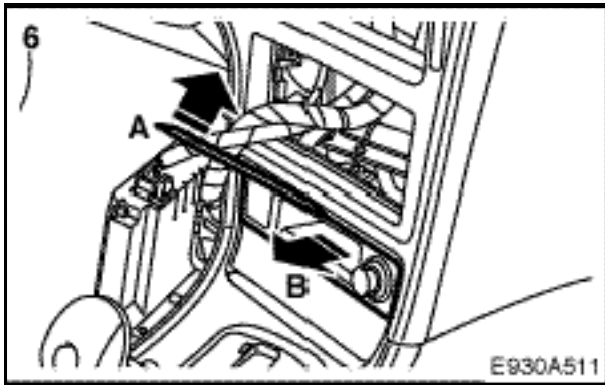
2.2 ラジオを取り出し、コネクター及びアンテナの接続を外す。

3 **ナビゲーションシステム装備車：**

3.1 専用の特殊工具を押し込んでほめる。この工具のハンドルを引いて、ナビゲーションユニットを引き出す。



- 3.2 ナビゲーションユニットのコンネクターの接続を外す。
- 3.3 コンパートメントを取り外す。
- 4 ACCユニットを取り外す。
- 5 ACCユニットのコンネクターの接続を外す。



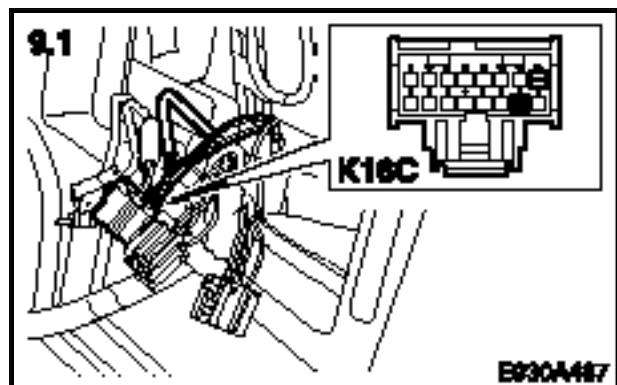
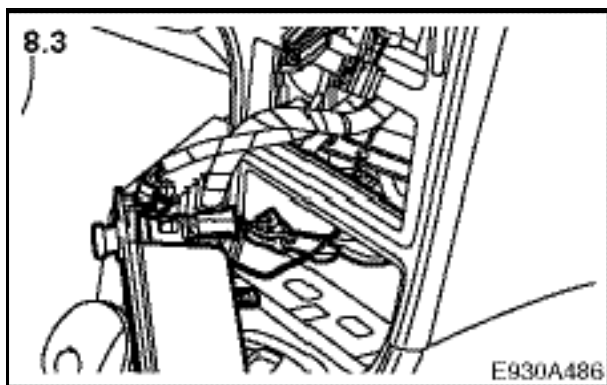
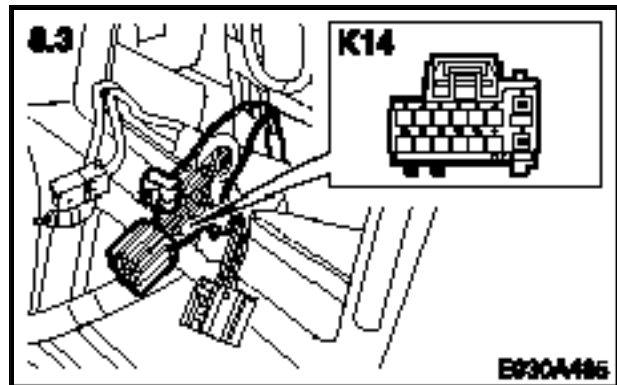
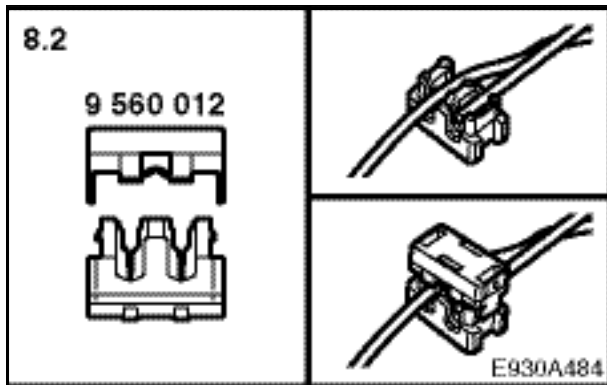
6 灰皿 / 小物入れを取り外す。

7 アダプターハーネスを準備する：

### 重要事項

ケーブルターミナルが確実に固定されているか確認すること。

- 7.1 黄色 (YE) のケーブルを、アダプターハーネスのケーブルと同じ長さに切断する。ケーブルの被覆を約 5 cm 切開して剥ぎ取り、ケーブル端部を露出させる。
  - 7.2 ケーブルターミナル (12 805 740) を、アダプターハーネスの黄色 (YE)、黒 / 白 (BK/WH) 、及びグレー / 白 (GY/WH) のケーブル端部に接続する。
- 8 **ラジオ装備車**：アダプターハーネスを車両に接続する：
- 8.1 以下のようにケーブルターミナルに接続する：
    - 黄色 (YE) -> K16 位置 4 (ミュート)
    - グレー / 白 (GY/WH) -> K14 位置 4 (出力ライン)
    - 黒 / 白 (BK/WH) -> K14 位置 5 (アースライン)



8.2 ワイヤーハーネスをスプライス（接合）する。

### 重要事項

スプライス（接合）する際にワイヤーハーネスを損傷しないように、ジョイントスリーブの圧着は一度だけ行うこと。

8.3 ジョイントスリーブを使用して、アダプターハーネスを車両に接続する：

赤 (RD) -> K14 位置 1 (+30)

黒 (BK) -> K14 位置 8 (アース)

赤 / 青 (RD/BU) -> 12V 電源ソケット 茶色 (BN) (+15)

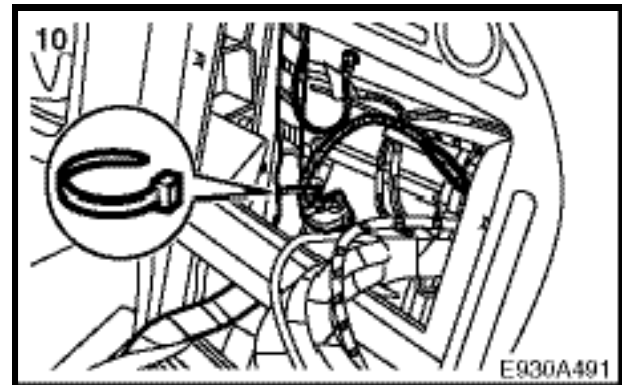
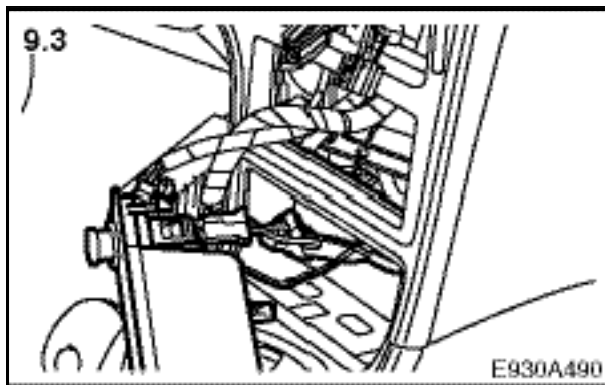
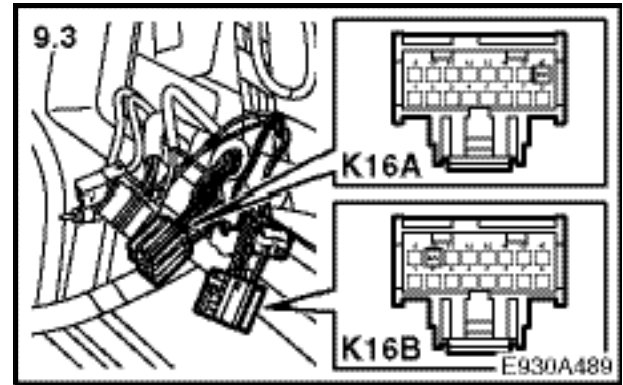
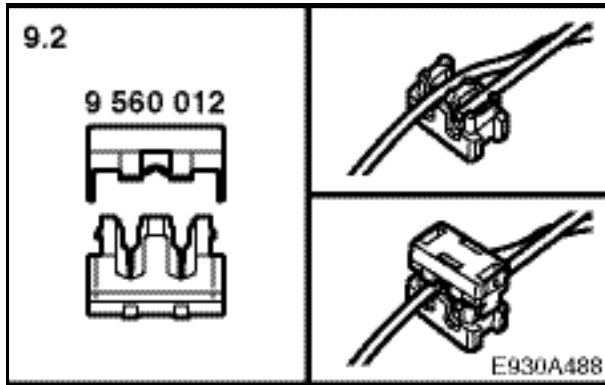
9 ナビゲーションシステム装備車：アダプターハーネスを車両に接続する：

9.1 以下のようにケーブルターミナルに接続する：

黒 / 白 (BK/WH) -> K16C 位置 7 (アースライン)

グレー / 白 (GY/WH) -> K14 位置 4 (出力ライン)

黄色 (YE) -> K16C 位置 16 (ミュート)



9.2 ワイヤーハーネスをスプライス(接合)する。

### 重要事項

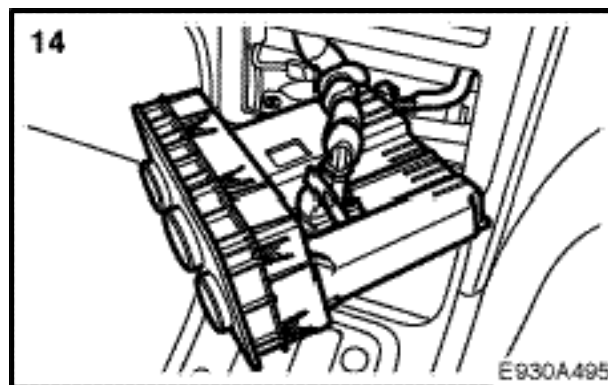
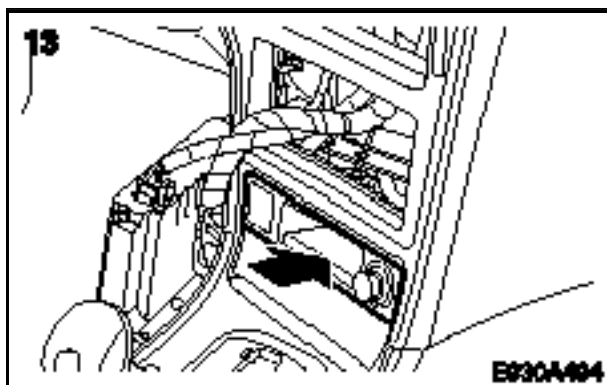
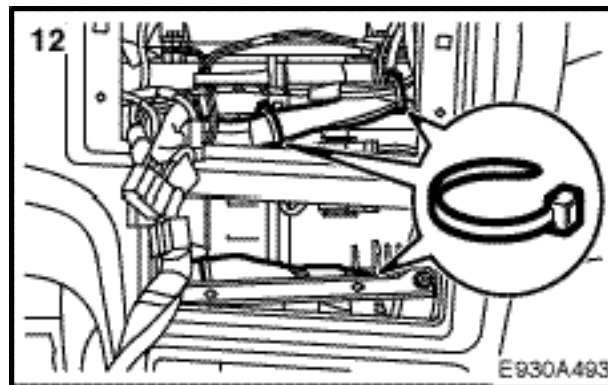
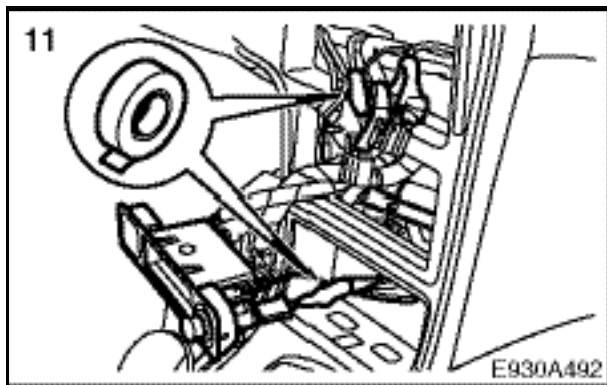
スプライス (接合) する際にワイヤーハーネスを損傷しないように、ジョイントスリーブの圧着は一度だけ行うこと。

- 9.3 ジョイントスリーブを使用して、アダプターハーネスを車両に接続する：
- 赤 (RD) -> K16A 位置 16 (+30)
  - 黒 (BK) -> K16B 位置 10 (アース)
  - 赤 / 青 (RD/BU) -> 12V 電源ソケット 茶色 (BN) (+15)

10 アダプターハーネスのコネクターをケーブルタイで固定する。

### 重要事項

ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。



11 ワイヤーハーネスの接合部分に、絶縁及び保護のため布テープを巻く。

12 配線（余った部分も含めて）を固定する。

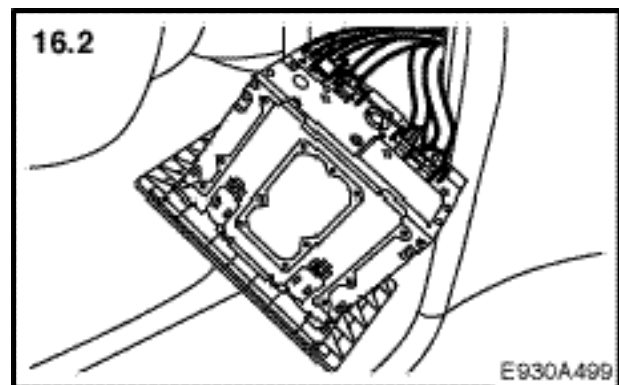
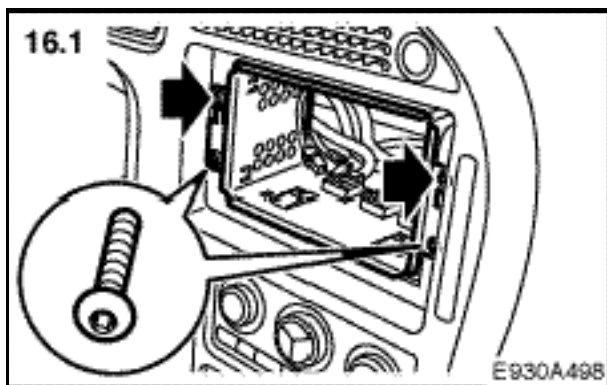
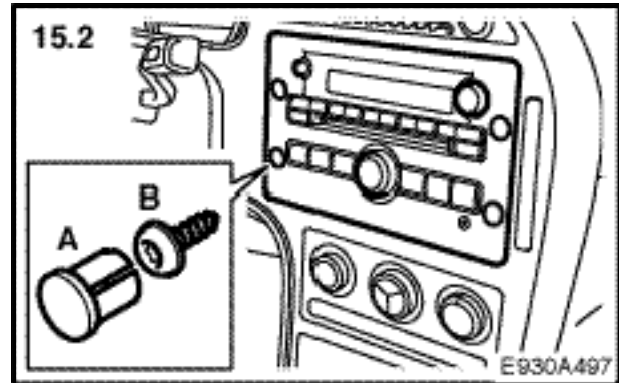
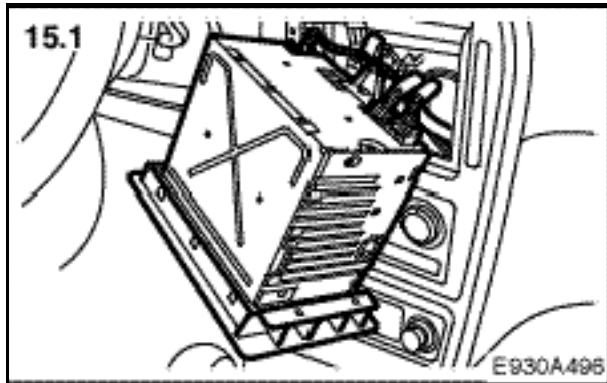
### 重要事項

ワイヤーハーネスは、他の部品とこすれたり、車体の振動に伴い雑音を発したりしないように、確実に固定する。

13 灰皿 / 小物入れを取り付ける。

14 コネクターを接続し、ACCユニットを取り付ける。



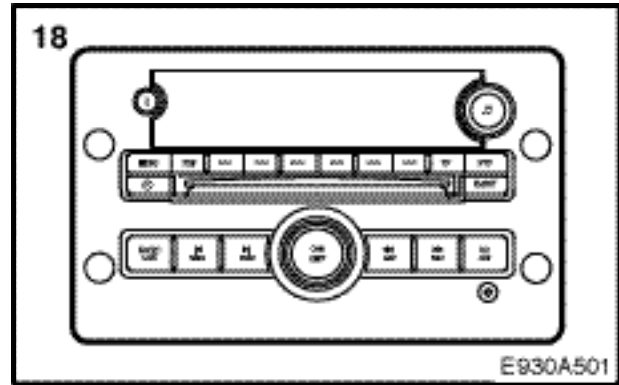
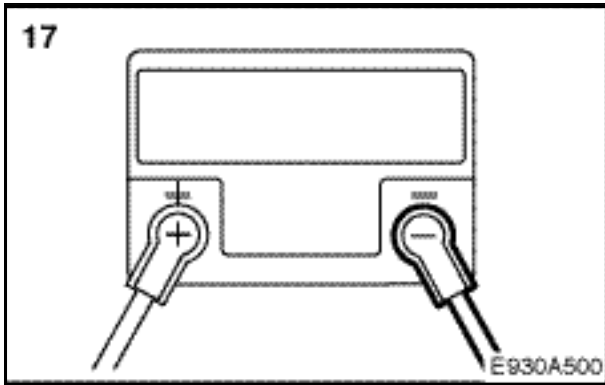


#### 15 ラジオ装備車：

- 15.1 ラジオユニットのコンネクターとアンテナの接続を元に戻し、ユニットを元の位置に押し込む。
- 15.2 ネジ (B) 及びプラグ (A) を取り付ける。

#### 16 ナビゲーションシステム装備車：

- 16.1 コンパートメントを取り付ける。
- 16.2 ナビゲーションユニットのコンネクターとアンテナの接続を元に戻し、ユニットを元の位置に押し込む。



17 バッテリーのマイナス極 (-) を接続する。

18 オーディオ / ナビゲーションシステムのメインユニットの日付と時刻を、次の手順に従って正しく設定する：

#### CD チェンジャーが付いていないオーディオシステムのマニュアル調整：

- 時計のボタンを押す。
- 変更したいメニューの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- もう一度メニューボタンを押し、時刻または日付を段階的に増やす。時刻または日付は、SEEK ボタン、FWD ボタン、または REV ボタンでも変更できる。

#### CD チェンジャー付きオーディオシステムのマニュアル調整：

- MENU ボタンを押す。
- ディスプレイの、時計のシンボルの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- 変更したいメニューの真下にあるメニュー選択ボタンを押す。
- もう一度メニューボタンを押し、時刻または日付を段階的に増やす。時刻または日付は、SEEK ボタン、FWD ボタン、または REV ボタンでも変更できる。

#### RDS 時刻の自動調整：

RDS 時刻を受信するためには、通常の受信状態及び実際のラジオ局が RDS 時刻 (CT-Clock Time) 用信号を送信していることが必要である。

- 時計メニューで、ディスプレイの矢印の真下にあるメニュー選択ボタンを押す。

- メニューで RDS 時刻の真下にあるメニュー選択ボタンを押す。

- これにより時刻の調整は自動的に行われ、ディスプレイに「RDS 時刻に変更」と表示される。時刻情報が無い場合、または RDS 受信状態が悪い場合は、ディスプレイに「RDS 時刻受信不可能」と表示される。

#### ナビゲーション機能を装備したオーディオシステム：

通常ナビゲーションシステムは GPS 信号により正確な時刻と日付を受信する。

- スクリーンの一番右上にある時刻取得機能を持つボタンを秒間押し続けると、本日の日付が表示される。

マニュアル調整：

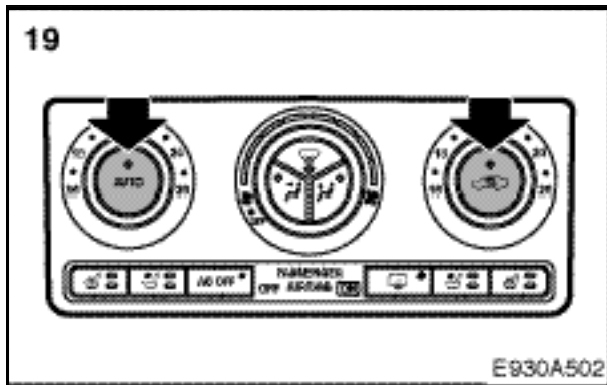
もし GPS 時間に異常があるか、または GPS 信号が無い場合、時刻と日付はマニュアル操作で変更できる。

- スクリーンの一番右上にある時刻取得機能を持つボタンを 2 秒間以上押し続けると、時刻と日付の調整用メニューに変わる。

- 時刻と日付を変更する。

#### 重要事項

もしバッテリーが外れていたり、これまでに外されたことがある場合、オーディオシステムがサテライトから GPS 信号を受信するまで時刻を表示することができない。この場合、時計をマニュアル操作で設定することも不可能である。



19 ACC システムの較正を行う :

19.1 エンジンをつける。

19.2 メイン計器ユニットのディスプレイに、「ACC: CALIBR. STARTED」が表示されるまで、AUTO 及び REC ボタンを押し続ける。この較正には、約 20 秒間を要する。